YAMAHA

取扱説明書

⚠ ご使用の前には必ず取扱説明書をよく読んでください。



モーターサイクル

NMAX155 (GPD155-A)

BBD-F8199-J0 ■

安全運転のために 1
各部の名称 2
スマートキーシステム 3
アイドリングストップ機能 4
車両の特徴 5
各部の取り扱いと操作 6
日常点検 7
運転操作 8
点検整備 9
お車の手入れ 10
製品仕様 11
ユーザー情報 12
索引 13

JAU27264

ヤマハ車をお買いあげいただきありがとうございます。

この取扱説明書には、お買いあげいただいた車の正しい取り扱い方法や安全な運転のしかた、日常点検、簡単な定期点検整備などについて説明してあります。
車は万一取り扱いを誤ると、重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。
車の正しい取り扱いをご理解いただくため、運転される前に必ず本書をお読みください。
また、メンテナンスノート、セーフティガイド（スクーターをより安全にお乗りいただくためのアドバイス）もあわせてお読みください。
本書では、正しい取り扱いおよび点検整備に関する重要な事項を下記のシンボルマークで表示しています。

⚠	**安全にかかわる注意情報を示してあります。**
⚠警 告	**取り扱いを誤った場合、死亡、重傷・傷害に至る可能性が想定される場合を示してあります。**
注 意	**取り扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される場合を示してあります。**
要　点	正しい操作のしかたや点検整備上のポイントを示してあります。

車の受け取りの際には、お買いあげいただいた販売店から「取扱説明書」「メンテナンスノート」「セーフティガイド」「車両受け渡し確認書」を受け取り、以下の説明を必ずお受けください。
- 車の正しい取り扱い方法
- 日常点検、定期点検整備
- 保証内容および保証期間

※ 車をゆずるときには、次の持ち主のために本書もお渡しください。
※ 仕様の変更などにより、本書の図や内容が一部実車と異なることがありますのでご了承ください。

もくじ

安全運転のために 1-1
あなた自身と同乗者のために.....1-1
歩行者と他の車のために 1-5
環境・住民の方との調和のために.....1-6

各部の名称 2-1
左側面.....2-1
右側面.....2-2
運転装置と計器類.....2-3

スマートキーシステム 3-1
スマートキーシステムの概要.....3-1
スマートキーおよび
メカニカルキーの取り扱い.....3-2
スマートキー操作のしかた.....3-4
スマートキーの電池 3-5
メインスイッチ.....3-6
スマートキーシステムの作動範囲.....3-9

アイドリングストップ機能 4-1
アイドリングストップ機能.....4-1
アイドリングストップの操作手順と
作動.....4-1

車両の特徴 5-1
CCU（コミュニケーション
コントロールユニット）.....5-1

各部の取り扱いと操作 6-1
警告灯と表示灯.....6-1
マルチファンクションメーター 6-2
盗難警報器（別売アクセサリー）..... 6-8
ハンドルスイッチ 6-8
フロントブレーキレバー..... 6-10
リヤブレーキレバー..... 6-10
ABS..... 6-10
トラクションコントロール
システム 6-11
フューエルタンクキャップ..... 6-13
燃料..... 6-14
シート 6-14
ヘルメットホルダー..... 6-15
書類入れ..... 6-15
小物入れとトランク..... 6-15
リヤクッションの調整 6-16
スタンディングハンドル..... 6-17
パワーアウトレット..... 6-17
DC コネクター 6-18
サイドスタンド..... 6-18
イグニッションサーキット
カットオフシステム 6-19

日常点検.....7-1
日常点検の実施 7-1
日常点検箇所／点検内容..... 7-1

運転操作.....8-1
ならし運転 8-1
エンジン始動..... 8-1
発進..... 8-2
加速と減速 8-2
ブレーキ..... 8-3
駐車..... 8-3

点検整備.....9-1
点検整備の実施 9-1
サービスツール 9-2
カバーの取り外し、取り付け..... 9-2
エンジンオイル 9-3
ファイナルギヤオイルの交換時期..... 9-4
エンジンのかかり具合、
異音の点検 9-4
低速、加速の状態の点検 9-5
冷却水..... 9-5
エアクリーナーエレメント、
V ベルトフィルターエレメント 9-7
タイヤ..... 9-9
ブレーキレバーの遊び、
きき具合の点検..... 9-11
ブレーキパッドの点検..... 9-11
ブレーキ液量の点検 9-12
バックミラー 9-12
車体各部の給油脂状態の点検..... 9-13
バッテリー..... 9-13
ヒューズ交換 9-15
灯火装置および方向指示灯の点検.... 9-16
運行において異常が認められた
箇所の点検 9-17
こんなときは 9-17
スマートキーシステムの
エマージェンシーモード 9-20

お車の手入れ 10-1
洗車 10-1
キャストホイールの取り扱い..... 10-2
ウインドシールドの取り扱い..... 10-2

保管のしかた 10-3
アフターケア用品について 10-3

製品仕様.....11-1

ユーザー情報.....12-1
二輪車を廃棄する場合は？ 12-1
サービスマニュアル（別売）の
紹介..... 12-2
車両情報 12-2

索引.....13-1

安全運転のために

1

JAU27281

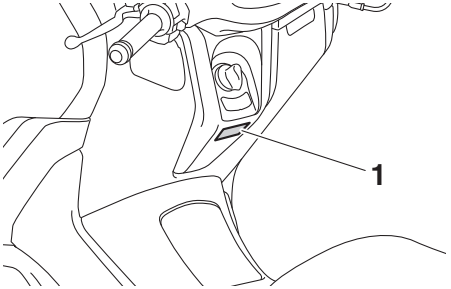
この章には、特に知っておいていただきたいこと、守っていただきたいことなどの基本的なアドバイスを述べてあります。運転するときには、次のことを守って安全運転および上手な操作を心がけてください。
安全運転とは、交通ルールを守ることだけでなく、ほかの人々が安全に通行できるように配慮することです。

JAU74830

あなた自身と同乗者のために

安全項目ラベルについて

運転に慣れてきますと、いろいろな注意を忘れがちになり、事故を起こすことがあります。
車に乗るときには、安全項目ラベルの注意事項をいつも守り、安全運転に心がけてください。



1. 安全項目ラベル

⚠ 警 告

- 取扱説明書をよく読んで安全な運転をしましょう。
- ヘルメットを正しくかぶりましょう。
- マフラーは熱くなります。人が触れにくい場所に駐車する等の配慮をしましょう。
- ヘッドランプを昼間はロービーム点灯しましょう。
- 違法改造はやめましょう。
- 定められた点検整備をメンテナンスノートに従って励行しましょう。

安全運転は正しい服装から

- ヘルメットは必ず着用してください。ヘルメットは PSC または SG、JIS マークのある二輪車用を必ず着用してください。ヘルメットは正しくかぶり、必ずあごひもをしめます。頭にしっくり合って、圧迫感のないものが最適です。
- グローブを必ず着用してください。グローブは、摩擦に強い皮製のものが適しています。
- ヘルメットにシールドを着用してください。着用できないときは、ゴーグルを使用してください。
- 運転する服装は以下のことを確認して選び、着用してください。疲労を少なくし、万一の転倒時には身体を保護します。
  - 保護性の高い服で明るく目立つ色のもの
  - 動きやすく、体の露出が少ない長袖・長ズボン



- 以下のような服装は運転操作のじゃまになります。また、回転部分に巻き込まれたり高熱になる部分に接触したりして、思わぬ事故の原因にもなりますので、着用しないでください。
  - ズボンのすそや袖口の広い服
  - 衣服の飾り物や紐など、長すぎる装飾がある服
  - ロングスカートやロングマフラーなどの体に密着しない服





- 靴はかかとが低く、運転操作がしやすいものを着用してください。また、くるぶしまで覆われていて足にピッタリしたものを選んでください。
- 同乗者にも上記の注意を守らせてください。

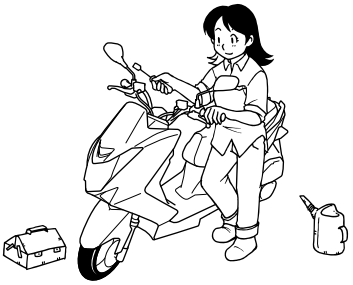
JWA11601

⚠ 警 告

ヘルメットを正しくかぶっていないと、万一の事故の際、死亡または重傷に至る可能性が高くなります。運転者と同乗者は、必ずヘルメットをかぶり、正しい服装で乗車してください。

日常点検、定期点検整備を必ず行う

事故や故障を防ぐため、法令に準じた日常点検を行ってください。また、法令に準じた 1 年、2 年ごとに行う定期点検も必ず実施してください。



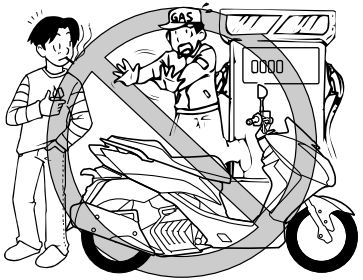
車の異状

次のような場合は、車が故障しているおそれがあります。そのままにしておくと、走行に悪影響をおよぼしたり、事故につながるおそれがあり危険です。販売店で点検・整備を受けてください。

- 異音がしたり、異臭や異常な振動があるとき。
- 地面にオイルなどが漏れた跡があるとき。
- 燃料、冷却水のにじみまたは漏れた跡があるとき。

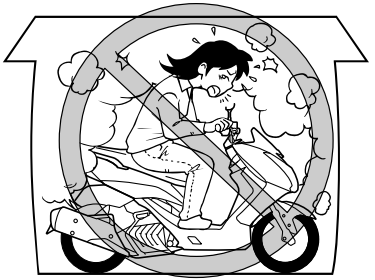
給油時は火気厳禁

ガソリンは揮発性が高く、引火しやすい燃料です。給油時は必ずエンジンを止め、火気を近づけないでください。

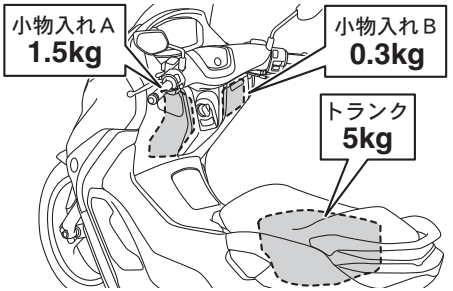


風通しの悪い場所でエンジンを始動しない

排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。
風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。エンジンの始動は風通しのよい屋外で行ってください。



荷物を積むときは



- 上記以外の場所には荷物を積まないでください。
- 荷物を積むと、積まないときにくらべて操縦安定性が変わります。荷物を積みすぎると、ハンドルが振られたりして危険ですので、積みすぎないように注意してください。
- ハンドルの近くには、荷物など、物を置かないでください。ハンドルの近くに物を置くと、ハンドル操作を妨げる場合があります。
- ヘッドライトの前を荷物などでさえぎらないようにしてください。ライトの熱によりヘッドライトのレンズが変色、溶損したり、荷物にまでその不具合がおよぶこともあります。
- マフラー、エンジンなどの熱くなるところへ荷物などの物が触れないようにしてください。

両手はハンドル、両足はフットレストボード

- 運転するときは、両手でハンドルを握り、両足をフットレストボードにのせます。
- 同乗者には、両手で体をしっかり固定させ、両足を必ずフットレストにのせさせます。



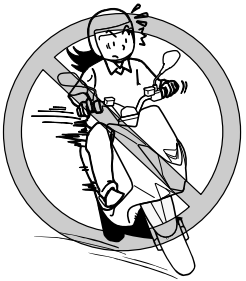
押して移動するときはエンジンを止める
車から降りて押して移動するときはエンジンを止めてください。
やむをえずエンジンをかけたまま移動するときはスロットルグリップを不用意に回さないようにするため、必ず右手でスタンディングハンドルを持って行ってください。
スロットルグリップを持って行うと思わぬ事故の原因となります。



乗車定員は２名
ただし、免許取得後１年未満の運転者は、法令により２人乗りはできません。
タンデムシート以外の場所には人を乗せないでください。
また、高速道路（2 人乗りが許可されている高速道路）においては、20 才以上で、免許取得後３年を経過した運転者でなければ２人乗りはできません。



急激なハンドル操作や片手運転はしない
急激なハンドル操作や片手運転は、横すべりや転倒の原因となります。絶対にしないでください。



誤った方法でエンジンを停止しない
誤った取り扱いをすると、マフラーの中の触媒装置が異常に高温になり、損傷するおそれがあります。次のような操作はしないでください。
● 走行中にエンジンを停止する。
● 空ぶかし直後にエンジンを停止する。

自己流のエンジン調整、部品の取り外しはしない
エンジン調整はヤマハ販売店におまかせください。

JCA15221

注 意

部品交換が必要な場合は正規の規格のものを使用するよう、販売店へ依頼してください。規格が異なった部品を使用すると、故障などの原因となります。

自賠責保険に必ず加入
自賠責保険（共済）に加入することは法令で定められています。万一の事態に備えて必ず加入してください。
また、保険の期限切れにも注意してください。

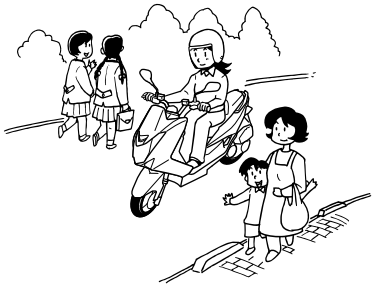
1

歩行者と他の車のために

JAU66240

他の人への思いやり

- 交通ルールを守り、まわりの歩行者や車の動きに注意し、相手の立場について思いやりの気持ちをもって通行しましょう。
- 周囲の状況に注意して、安全なスピードで走行してください。歩行者や自転車のそばを通るときは、安全な距離を保つか徐行してください。



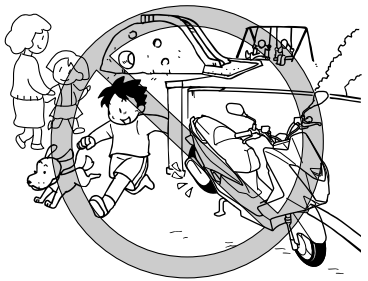
駐車

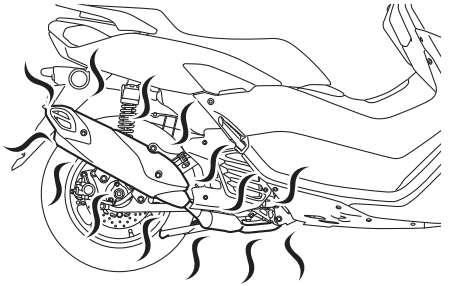
- 盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、スマートキーをお持ちください。また、チェーンロックなどのサイクルロックも同時に使用することをおすすめします。
- 交通のじゃまにならない場所に駐車してください。
- 平坦な場所に駐車してください。やむをえず、傾斜地や柔らかい地面などの不安定な場所に駐車するときは、転倒や動き出しのないようにしてください。
- サイドスタンドを使用して駐車するときは、車が停止してからハンドルを左に切ってください。

JWA12241

⚠ 警 告

- **エンジン回転中および停止後、しばらくの間はマフラーやエンジンなどが熱くなっています。触れるとヤケドをすることがありますので、注意してください。また、物などが直接触れないようにしてください。**
- **駐車は、通行する人がマフラーやエンジンなどに触れない場所にしてください。**
- **マフラーの中の触媒装置は高温になります。枯れ草や紙、オイル、木材など、燃えやすいものがある場所には駐車しないでください。**



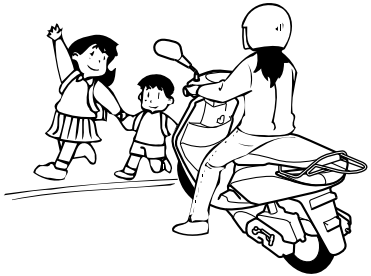


昼間はヘッドライトを下向きに

この車両は自動昼間点灯仕様です。エンジンがかかっている間は点灯しつづけます。他の車や歩行者へ注意をうながし、自分の存在を知らせるためです。対向車がまぶしくないように、ライトは下向きを使ってください。

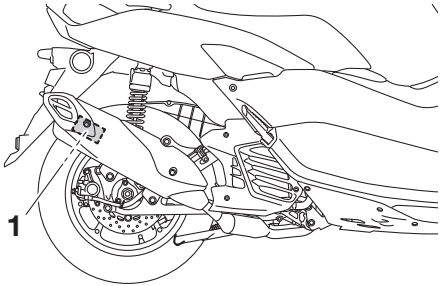
JAU27651
環境・住民の方との調和のために

住民の方への思いやり
自分の都合だけを考えて、沿道の方に不愉快な騒音などの迷惑をかけないでください。



特に深夜の住宅街や人通りの多い道路などで長時間のアイドリングや急発進などを行うと、迷惑になりますのでしないでください。

違法改造はしない
- 違法改造は法律により禁止されています。改造は操縦安定性を悪くしたり、排気音を大きくして車の寿命を縮めたり、重大な事故や故障の原因となります。また、改造すると車の保証が受けられません。
- この車は、排出ガス規制適合車です。マフラーには排出ガスを浄化する触媒装置が内蔵されています。他のマフラーをこの車に取り付けると、排出ガス規制に適合しなくなる可能性があります。マフラーを交換する場合は、お買いあげのヤマハ販売店にご相談ください。なお、ヤマハ純正部品のマフラーには “YAMAHA” マークが刻印されています。



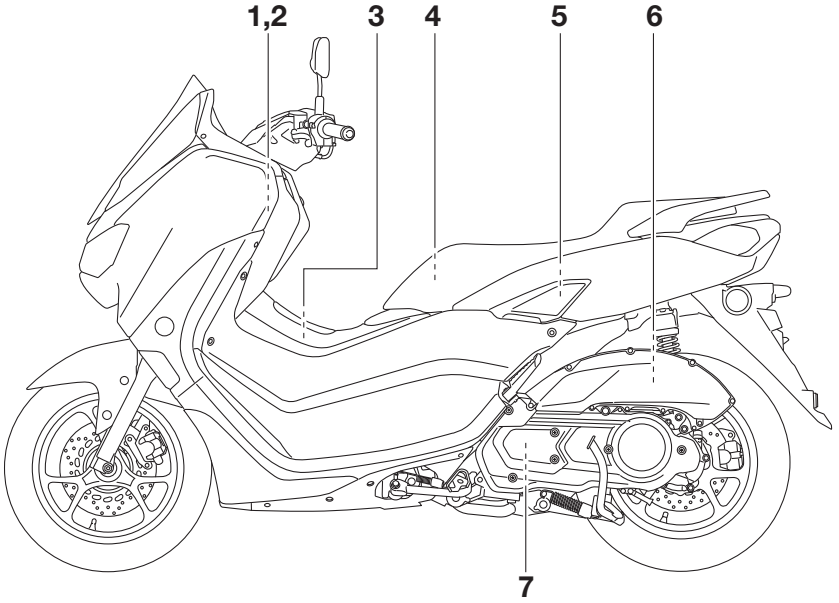
1. “YAMAHA” マーク

環境への配慮
廃車をするときや、バッテリー、廃油などの廃棄処理をするときは、環境保護のためお買いあげのヤマハ販売店にご相談ください。

各部の名称

JAU10411

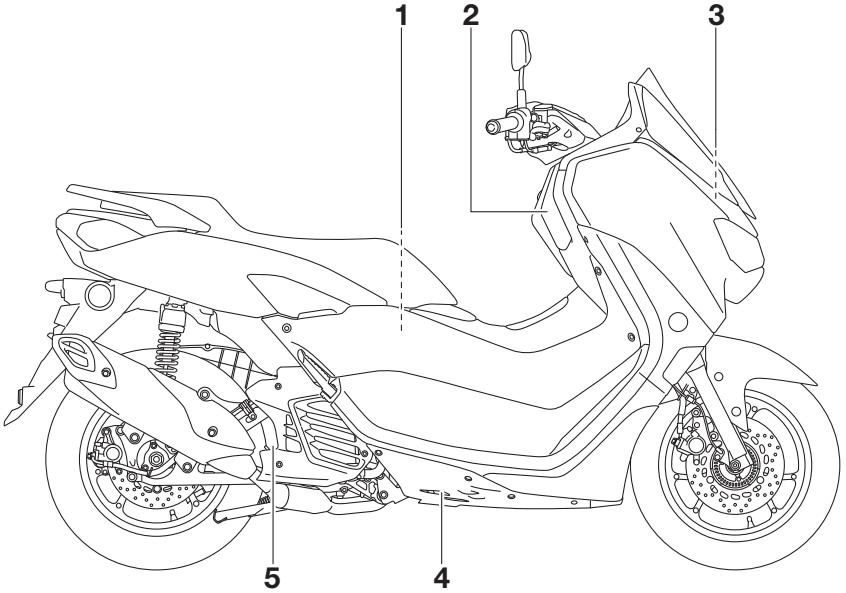
左側面



1. 小物入れ A（P6-15）
2. パワーアウトレット (P6-17)
3. フューエルタンクキャップ（P6-13）
4. サービスツール（P9-2）
5. トランク（P6-15）
6. エアクリーナーエレメント（P 9-7）
7. V ベルトフィルターエレメント (P9-7)

JAU10421

右側面

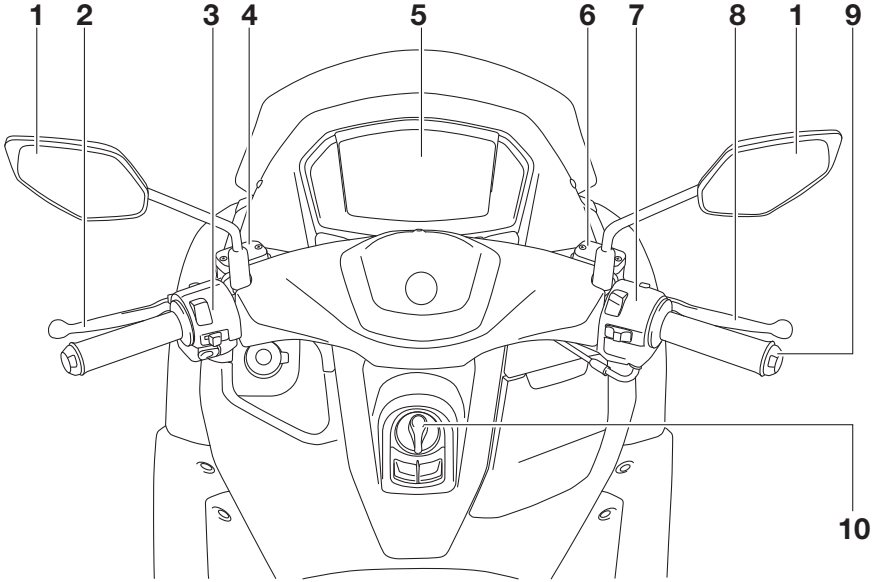


1. バッテリー（P9-13）
2. 小物入れ B（P6-15）
3. ヒューズボックス（P 9-15）
4. リカバリータンク（P9-5）
5. オイル注入口（P9-3）

各部の名称

JAU10431

運転装置と計器類



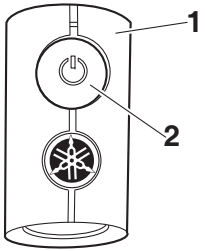
1. バックミラー (P9-12)
2. リヤブレーキレバー（P9-11/P6-10）
3. ハンドルスイッチ（左）（P6-8）
4. リヤブレーキリザーバータンク（P9-12）
5. マルチファンクションメーター（P6-2）
6. フロントブレーキリザーバータンク（P9-12）
7. ハンドルスイッチ（右）（P6-8）
8. フロントブレーキレバー（P9-11/P6-10）
9. スロットルグリップ（P8-2）
10. メインスイッチ（P3-6）

JAU92490

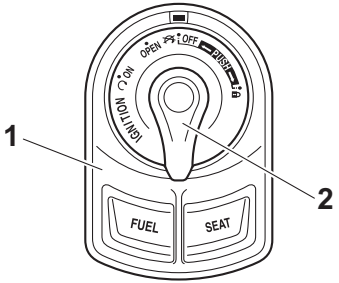
スマートキーシステムの概要

スマートキーシステムは、スマートキーを持っていることにより、メカニカルキーを取り出すことなく次の操作が可能になるシステムです。また、駐車場で車を見つけるのに役立つアンサーバック機能付きです。

- 電源の ON/OFF
- エンジンの始動と停止
- ハンドルロックの解除 / 施錠
- シートロックの解除
- フューエルタンクキャップリッドの解除



1. スマートキー
2. スマートキーボタン



1. メインスイッチ
2. メインスイッチノブ

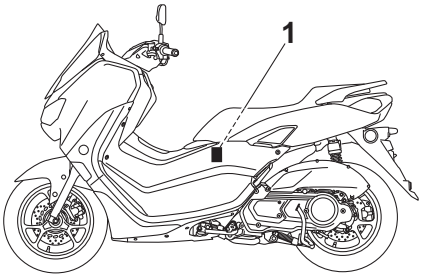
要　点

- 長期間使用しなかったとき、またはバッテリーを取り外して再接続したときなど、車両の電源を ON にしてエンジンを始動する前に、システムの関係から自動的に電源が OFF になることがあります。このようなときは、再度車両の電源を ON にしてからエンジンを始動してください。
- 最後に車を使用してから（車両の電源を ON から OFF にしてから）約 9 日間経過すると、バッテリー保護のためスマートキーの使用ができなくなります。この状態のとき電源を ON にすると、エンジンを始動する前にシステムの関係から、自動的に電源が OFF になります。このようなときは、再度車両の電源を ON にすると、エンジンを始動することができます。

JWA20570

⚠ 警 告

植え込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、車載アンテナ（イラスト参照）から約 22cm 以内に植え込み型心臓ペースメーカーが近づかないようにしてください。スマートキーシステムは、トランクの左側に設置されたアンテナを使用して微弱電波を発信しています。この電波により、植え込み型心臓ペースメーカーや植え込み型除細動器などの医療機器の作動に影響を与えるおそれがあります。その他の医療用電子機器をご使用のお客様は、医師や医療用電気機器製造業者などに影響の有無を確認してからご使用ください。



1. 車載アンテナ

スマートキーシステム

JCA24080

注 意

スマートキーシステムは、微弱な電波を使用しています。次のようなときはスマートキーシステムが正常に作動しないことがあり、各種ロックの解除や電源の ON などができないことがあります。

- **強い電波、ノイズのある場所に置いたとき。**
- **近くにテレビ塔や発電所、放送局、空港など、強い電波を発する設備があるとき。**
- **スマートキーを、携帯電話や無線機などの通信機器と一緒に携帯しているとき、または使用しているとき。**
- **スマートキーが金属物に触れていたり、覆われているとき。**
- **スマートキーをパソコンなどの電化製品の近くに置いたとき。**
- **近くで他の車がスマートキーシステムを使用しているとき。**

このようなときはスマートキーの場所を移動して、再度操作を行ってください。それでも作動しないときは、エマージェンシーモード（9-20 ページ参照）で操作を行ってください。

JAU76461

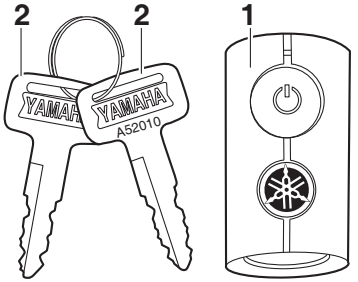
スマートキーおよびメカニカルキーの取り扱い

JWA17952

⚠警 告

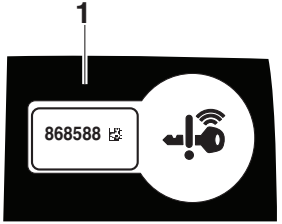
- **スマートキーは、運転者が必ず携帯してください。**
- **スマートキーが作動範囲内にあると、スマートキーを身につけていない人でもエンジンの始動やシートロックの解除、ハンドルロックの解除／施錠が可能ですので、充分に注意してください。**

- キーは車の操作や保管をするときなどに使用する大切なものです。キーを紛失しないよう、充分に注意してください。
- この車には、スマートキー１個、メカニカルキー２本、ID 番号カード１枚が付属しています。メカニカルキーと ID 番号カードは、車の保管場所とは別にして大切に保管してください。また、ID 番号カードの紛失に備えて、**ID 番号をメモなどに控えておくことをおすすめします。**



1. スマートキー
2. メカニカルキー

- 車両のバッテリー電圧が低下している場合は、メカニカルキーを使用してシートを開けることができます。**スマートキーと一緒にメカニカルキー１本を携帯してください。**
- スマートキーと ID 番号カード（ID 番号の控えを含む）を全て紛失または破損したときは、スマートキーシステム全体の部品交換になります。詳しくは販売店にご相談ください。
- スマートキーの ID 番号（6 桁数字）は ID 番号カードに記されています。緊急時にはこのスマートキーの ID 番号（6 桁数字）を入力することで、スマートキーを使用せずに各種ロックの解除やエンジンの始動が可能になります。緊急時の操作方法については、9-20 ページのエマージェンシーモードを参照してください。



1. ID 番号カード

JCA27090

注 意

スマートキーは、信号を発信するための精密な電子部品を内蔵しています。故障の原因となりますので、以下のことを守ってください。

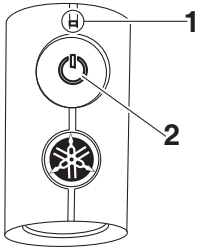
- **トランク内にスマートキーを置いたり収納したりしないでください。振動や過度な熱によりスマートキーが損傷するおそれがあります。**
- **無理に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えないでください。**
- **水に濡らさないでください。**
- **重いものを上に置かないでください。**
- **直射日光があたる場所や、高温、多湿になるところに放置しないでください。**
- **火であぶったりしないでください。**
- **削ったり、穴を開けたりしないでください。**
- **超音波洗浄器などで洗浄しないでください。**
- **磁気を帯びたキーホルダーなどを近づけないでください。**
- **テレビ、オーディオなど、磁気を帯びた機器の近くに置かないでください。**
- **低周波治療器などの医療用電気機器の近くに置かないでください。**
- **ガソリンなどの燃料やツヤ出し剤、油脂類が付着しないようにしてください。変形したり、ひび割れたりすることがあります。**
- **シールを貼らないでください。**

要 点

- スマートキーは車から離れているときも電池を消耗しています。
- 電池の寿命は使用状況により異なりますが、約 2 年程度です。（全く使用しなくても電池は消耗します。）
- 車両の電源をオンにした時にメーターのスマートキーシステム表示灯が点滅（約 20 秒）した場合は、新しい電池に交換してください。（電池交換のしかたは、3-5 ページ参照）
- スマートキーは電波を受信し続けた場合、それに反応して電池を著しく消耗することがあります。（例：テレビやパソコンなどの電気製品の近くに置いているとき）
- スマートキーボタンを押してもスマートキー表示ランプが点灯しないときは、電池の消耗または故障が考えられます。電池を交換しても直らない場合は、販売店にご相談ください。
- 予備のスマートキーが必要な場合は、販売店にご相談ください。スマートキーは、同じ車に最大 6 個まで登録することができます。
- スマートキーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちにヤマハ販売店にご相談ください。

JAU93480

スマートキー操作のしかた



1. スマートキー表示ランプ
2. スマートキーボタン

スマートキーのロック／アンロック切替

スマートキーを使用できる状態（アンロック）にするか、使用できない状態（ロック）にするかの切替方法です。
スマートキーボタンを長押し（1 秒以上）することで、スマートキーの通信モードを切り替えることができます。

- スマートキー表示ランプが 1 回点滅したとき・・・スマートキーがアンロックの状態になりました。（スマートキーシステムを使用できます）
- スマートキー表示ランプが長めに 1 回点滅したとき・・・スマートキーがロックの状態になりました。（スマートキーシステムを使用できません）

スマートキーのロック／アンロック状態を確認する

スマートキーボタンを短押し（1 秒以内）することで、現在の通信モードの状態をスマートキー表示ランプによって確認することができます。

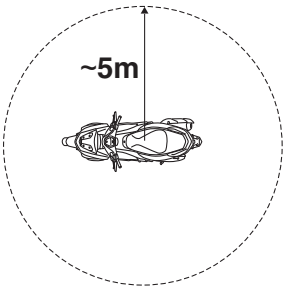
- スマートキー表示ランプが 1 回点滅したとき・・・アンロック状態になっています。
- スマートキー表示ランプが長めに 1 回点滅したとき・・・ロック状態になっています。

アンサーバック機能

スマートキーボタンを押してアンサーバック機能を遠隔操作すると、ブザーが 2 回鳴り、全ての方向指示器が 2 回点滅します。この機能は駐車場やその他の場所で自分の車を見つけるのに便利です。

遠隔操作範囲

スマートキーでアンサーバックの遠隔操作を行うことができる範囲は、およそ下図の範囲です。



要　点

スマートキーは微弱な電波を使用しているため、周囲の状況により操作範囲が変化することがあります。（3-9 ページを参照）

アンサーバックブザーのオンとオフの切替

アンサーバック機能が作動したときに鳴るブザーは、以下の手順に従ってオンまたはオフに切り替えることができます。

1. スマートキーをアンロック状態にして、作動範囲内に移動します。
2. メインスイッチを OFF にし、メインスイッチノブを 1 回押します。
3. ノブを押して 9 秒以内に、もう一度ノブを長押し（5 秒）します。
4. ブザーが鳴ると、設定が完了します。
   - ブザーが 1 回：アンサーバックブザーがオンに設定されました。
   - ブザーが 2 回：アンサーバックブザーがオフに設定されました。

JAU83293

スマートキーの電池



1. スマートキーシステム表示灯 “ ”

車両の電源をオンにしたとき、スマートキーシステム表示灯が約 20 秒間点滅する場合は、電池残量が少なくなっているため、新しい電池と交換してください。
アンサーバック機能が作動しなかったり、作動範囲が狭くなったりする場合も新しい電池と交換してください。

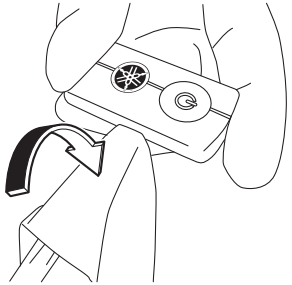
JWA14724

⚠警 告

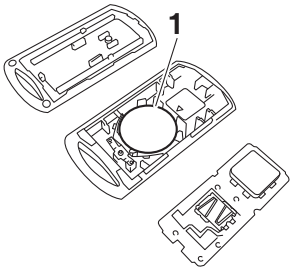
- **電池および取り外した部品は小さいため、子供が誤って飲み込み、傷害を受けるおそれがあります。電池および取り外した部品を、子供の手が届くところに置かないでください。**
- **電池を直射日光に当てたり、熱源に近づけるなどしないでください。**

電池交換のしかた

1. 図のようにスマートキーのケースを開けます。



2. 電池を取り外します。



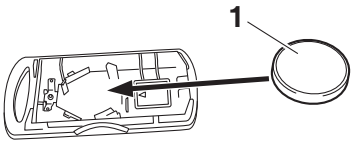
1. 電池

要 点

取り外した電池は、電池の説明書や各自治体の規則に従って処分してください。

3. 電池を新しいものと交換します。電池の取り付け方向（表裏）に注意してください。

使用電池：
ボタン電池　CR2032×1 個



1. 電池

4. スマートキーのケースを閉じます。

JCA15785

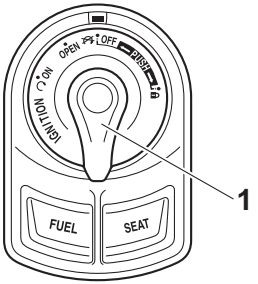
注 意

- **ドライバーなどにウエスをあてながら、部品を取り外してください。硬いものを直接あてがうと、本体に傷をつけるおそれがあります。**
- **電池の＋極と－極は必ず、正しく取り付けてください。**
- **防水シール部分の傷つきや、ゴミの混入に注意してください。耐水性能の低下や、故障の原因となります。**

- 内部の回路や端子などに触れないでください。故障の原因となります。
- 電池交換の際、本体に無理な力を加えないでください。
- 電池交換後は、スマートキーシステムの各機能が正常に作動するか必ず、確認してください。

メインスイッチ

JAU93460



1. メインスイッチノブ



1. スマートキーシステム表示灯 “ ”

メインスイッチは車両の電源の ON/OFF、ハンドルロック操作とシート・フューエルタンクリッドのロック解除を行います。メインスイッチノブを押してスマートキーが認証された後、スマートキーシステム表示灯が点灯している間（約 4 秒）メインスイッチを回すことができます。

JWA18720

警告

走行中にメインスイッチをOFF、“”、“OPEN”の位置にすると、電気系統の作動が停止し、事故につながるおそれがあります。メインスイッチは必ず停車中に操作してください。

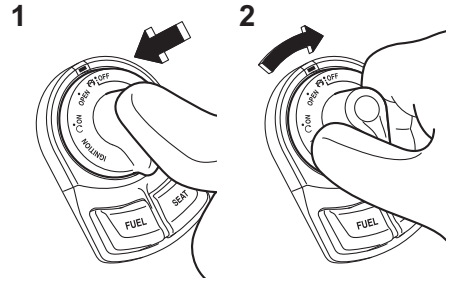
要　点

メインスイッチノブを何度も押さないでください。メインスイッチノブを何度も押すと、メインスイッチを保護するためにスマートキーシステムは一時的に無効となり、スマートキーシステム表示灯が点滅します。この場合、表示灯が消灯してからメインスイッチを再び操作してください。

メインスイッチの位置は以下のとおりです。

JAU83250

ON



1. 押す
2. 回す

全ての電気回路に電源が供給され、エンジンを始動させることができます。

車両の電源の ON のしかた

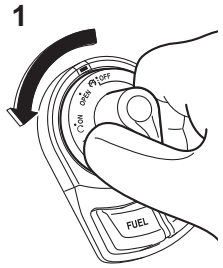
1. スマートキーをアンロック状態にして、作動範囲内に移動します。
2. メインスイッチノブを押すとスマートキーシステム表示灯が約4秒間点灯します。
3. スマートキーシステム表示灯が点灯中にメインスイッチを ON にすると、車両の電源が ON になります。

要　点

スマートキーを使わずに車両の電源を ON にするには 9-20 ページのエマージェンシーモードを参照してください。

JAU83260

OFF



1. 回す

全ての電気回路がオフになり、エンジンが停止します。

車両の電源の OFF のしかた

1. スマートキーをアンロック状態にして作動範囲内に移動し、メインスイッチを OFF にします。
2. 車両の電源が OFF になります。

要　点

メインスイッチを OFF にしたとき、スマートキーが認識できない（スマートキーが作動範囲外もしくはオフになっている）場合、ブザーが 3 秒間鳴り、スマートキーシステム表示灯が 30 秒間点滅します。

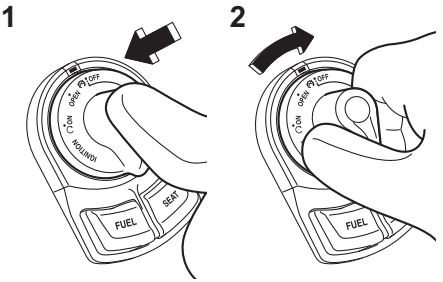
- スマートキーシステム表示灯が点滅している 30 秒間はメインスイッチを操作できます。
- 30 秒後、車両の電源は自動的に OFF になります。
- 車両の電源をすぐに OFF にする場合は、メインスイッチノブを 2 秒以内に 4 回押します。

JAU76534

OPEN

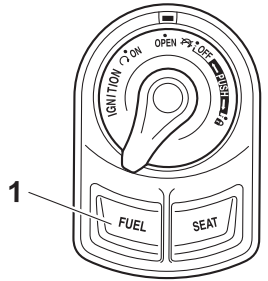
フューエルタンクキャップリッドとシートを開くことができます。

1. スマートキーをアンロック状態にして作動範囲内に移動し、メインスイッチノブを押します。
2. スマートキーシステム表示灯が点灯中にメインスイッチを OPEN にします。



1. 押す
2. 回す

フューエルタンクキャップリッドの開けかた



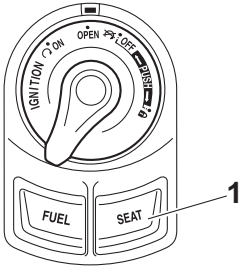
1. “FUEL” ボタン

“FUEL” ボタンを押して、フューエルタンクキャップリッドを開けます。
給油後、フューエルタンクキャップリッドを押して閉めます。

要　点

フューエルタンクキャップの取り外し、取り付けかたについては、6-13 ページを参照してください。

シートの開けかた



1. “SEAT” ボタン

“SEAT” ボタンを押して、シート後部を持ち上げます。
シートを閉めるには、シートを下ろし、シート後部を押さえてロックします。

要　点

- 走行前に、必ず、シートが確実にロックされているか確認してください。
- シートはメカニカルキーでも開けることができます。6-14 ページを参照）

OPEN 放置警告機能

メインスイッチを OPEN にした状態の車両の電源切り忘れを防ぐため、以下の条件でスマートキーシステムのブザーが鳴ります。

- メインスイッチを OPEN にしたまま 3 分間放置したとき
- メインスイッチを OPEN にしたままスマートキーをロック状態にしたとき
- メインスイッチを OPEN にしたままスマートキーを作動範囲外に移動させたとき

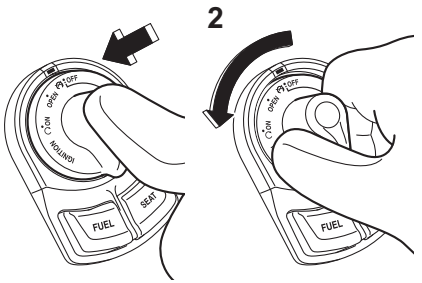
3 分間放置してブザーが鳴ったときは、メインスイッチを OFF または “🔒” にしてください。スマートキーがロック状態、または作動範囲外にあるときは、スマートキーをアンロック状態にして作動範囲内に移動してください。

要　点

- ブザーは 1 分後に停止します。

JAU76521

“🔒”（ロック）



1. 押す
2. 押し回し

ハンドルがロックされます。全ての電気回路がオフになります。

ハンドルロックのしかた

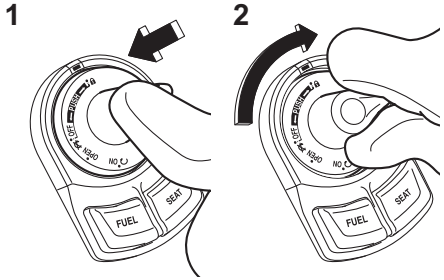
1. ハンドルを左へいっぱいに切ります。

2. スマートキーをアンロック状態にして作動範囲内に移動し、メインスイッチノブを押します。
3. スマートキーシステム表示灯が点灯中にメインスイッチを “🔓” にします。

要　点

ロックしにくいときは、ハンドルを少し右に動かしながらメインスイッチノブを回します。

ハンドルロックの解除のしかた



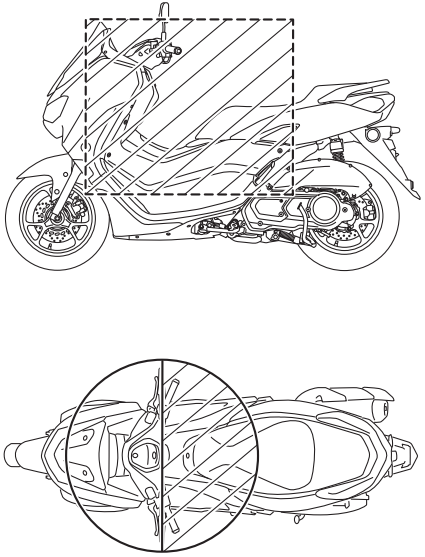
1. 押す
2. 押し回し

1. スマートキーをアンロック状態にして作動範囲内に移動し、メインスイッチノブを押します。
2. スマートキーシステム表示灯が点灯中にメインスイッチノブを任意の位置に回します。

JAU76453

スマートキーシステムの作動範囲

車がスマートキーの所在を確認して認証するときの作動範囲は、およそ下図の範囲です。



スマートキーがロック状態の場合、スマートキーを持っていてもスマートキーシステムは作動しません。スマートキーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所などでは、作動範囲が狭くなったり、作動しないことがあります。

要　点

- トランク内にスマートキーを置かないでください。
- スマートキーは、必ず運転者が携帯してください。
- 車から離れるときは、スマートキーをロックの状態にしてください。

3

アイドリングストップ機能

4

JAU76825

アイドリングストップ機能



1. アイドリングストップ表示灯 “Ⓐ”

アイドリングストップ機能とは、車両が停止すると、騒音防止、排ガス抑制や燃費向上のため、エンジンが自動的に停止する機能です。
少しスロットルグリップを回すと、自動的にエンジンが始動して再発進することができます。

JCA23961

注 意

駐車するときや乗車しないときは、必ずメインスイッチをオフにしてください。アイドリングストップ機能をオンにしたままにしておくと、バッテリーが消耗し、エンジンが再始動できなくなることがあります。

要 点

- 通常は車両が停止すると同時にエンジンが停止しますが、渋滞路など、10 km/h 未満で走行している場合は、エンジンの停止までに時間がかかることがあります。
- スターターの回転が弱いなど、バッテリーの電圧が低いと思われるときは、アイドリングストップ機能をオンにしないでください。販売店でバッテリーの点検を受けてください。

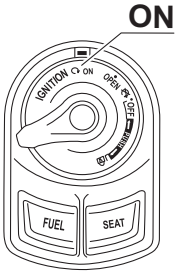
JAU76671

アイドリングストップの操作手順と作動

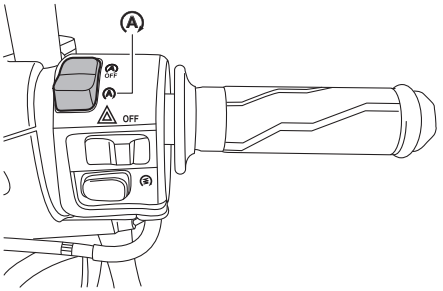
JAU76687

アイドリングストップの起動

1. メインスイッチをオンにします。



2. アイドリングストップスイッチを “Ⓐ” の位置にします。

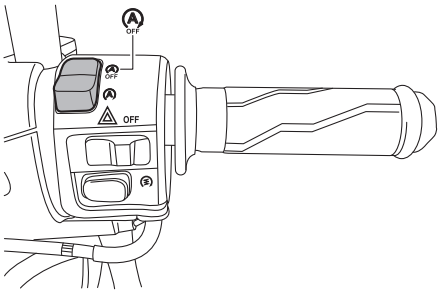


3. 以下の条件を満たすと、アイドリングストップが起動してアイドリングストップ表示灯 “Ⓐ” が点灯します。
   - アイドリングストップスイッチを “Ⓐ” の位置にする。
   - エンジン暖機後に、一定時間アイドリング運転する。
   - 10 km/h を越える速度で走行する。



1. 点灯

4. アイドリングストップ機能をオフにしたい場合は、アイドリングストップスイッチをオフの位置にします。



要　点

- バッテリーを保護するため、アイドリングストップが起動しない場合があります。
- アイドリングストップが起動しない場合は、販売店でバッテリーの点検を受けてください。

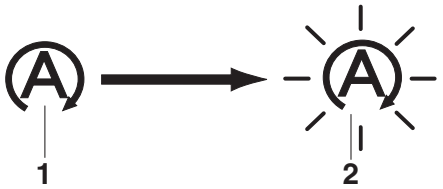
JAU76832

アイドリングストップによるエンジン停止

以下の条件を満たすと、エンジンが自動的に停止します。

- アイドリングストップスイッチを “Ⓐ” の位置にする。
- アイドリングストップ表示灯 “Ⓐ” が点灯している。
- 車両が停止した状態でスロットルグリップが完全に戻っている。

このとき、アイドリングストップ表示灯 “Ⓐ” が点灯から点滅に変わり、エンジンがアイドリングストップの状態であることを示します。



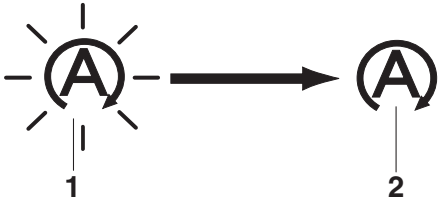
1. 点灯
2. 点滅

JAU76704

エンジンを再始動する

アイドリングストップ表示灯 “Ⓐ” が点滅しているとき、グリップを回すとエンジンが自動的に再始動し、点滅していた “Ⓐ” 表示灯が消灯します。

アイドリングストップ機能



1. 点滅
2. 消灯

JWA18731

⚠警 告

アイドリングストップ機能がオンの状態でエンジンが停止しているとき、急激なスロットル操作をしないでください。エンジン始動後、車両が急発進するおそれがあります。



要 点

- サイドスタンドを下ろすと、アイドリングストップ機能がキャンセルされます。
- アイドリングストップ機能が正常に作動しない場合は、ヤマハ販売店で点検整備を受けてください。

JAU76711

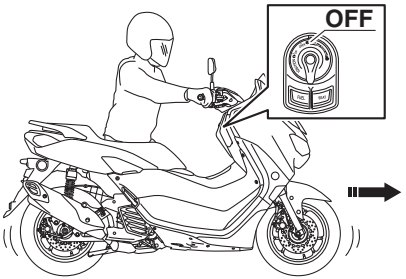
アイドリングストップ機能使用時の注意

誤った操作による事故を防ぐため、以下の警告をよく読み、正しい取り扱いをしてください。

JWA18741

⚠警 告

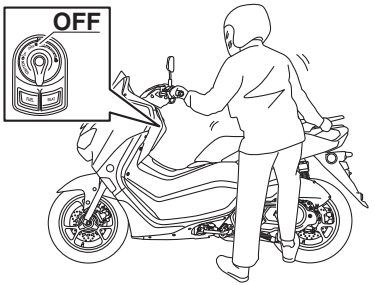
車両を押して歩くときは、必ずメインスイッチをオフにしてください。アイドリングストップ機能がオンの状態のままで車両を押していると、誤ってスロットルグリップを回してエンジンが始動してしまい、車両が発進するおそれがあります。



JWA18751

⚠警 告

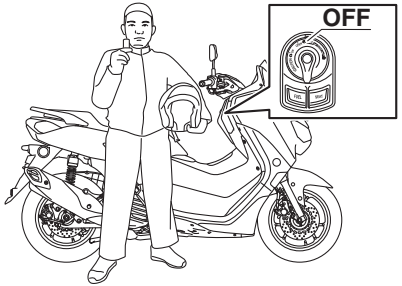
メインスタンドを立てるときは、必ずメインスイッチをオフにしてください。アイドリングストップ機能がオンの状態のままでスタンドを立てると、誤ってスロットルグリップを回してエンジンが始動してしまい、車両が発進するおそれがあります。



JWA18771

⚠警 告

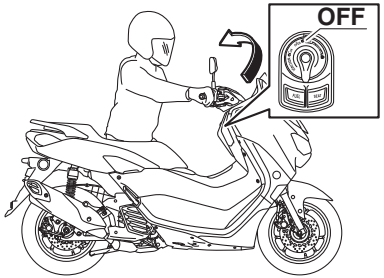
- **車両から離れるときは、必ずメインスイッチをオフにしてください。**
- **アイドリングストップ機能がオンの状態で駐車しないでください。誤ってアクセルグリップを回したとき、エンジンが始動してしまい、車両が発進するおそれがあります。**



JWA18781

⚠警 告

点検整備をするときは、必ずメインスイッチをオフにしてください。アイドリングストップ機能がオンの状態で点検整備を行うと、スロットル操作でエンジンが始動してしまい、車両が発進するおそれがあります。



JAUU2231

CCU（コミュニケーションコントロールユニット）

このモデルには、車両とスマートフォンをBluetooth接続できるCCUが搭載されています。接続するには、スマートフォンアプリ“Yamaha Motorcycle Connect”を使用します。
接続すると、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）アプリからの通知、電話の着信や着信履歴、スマートフォンのバッテリー残量（めやす）を車両のメーターに表示します。
“Yamaha Motorcycle Connect”では、最後に駐車した場所などの情報も確認できます。

要　点

本アプリのダウンロードやご利用にかかる通信費はお客様のご負担となります。

JWAN0070

⚠警 告

- **スマートフォンを操作する場合は、必ず車両を停止させてください。**
- **走行中はハンドルから手を離さないでください。**
- **常に視線と意識を道路にむけて、運転に集中してください。**

JCAN0150

注 意

次のようなときはBluetooth接続が正常にできないことがあります。

- **強い電波、ノイズのある場所で操作するとき。**
- **近くにテレビ塔や発電所、放送局、空港など、強い電波を発する設備があるとき。**

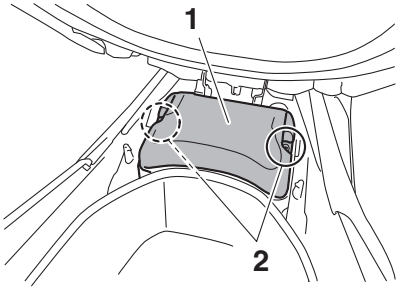
CCUとスマートフォンのペアリング

1. 以下のQRコードを読み込み、“Yamaha Motorcycle Connect”をダウンロードします。

要　点

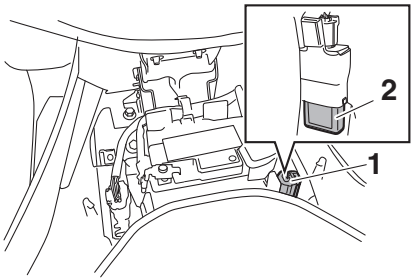
スマートフォンの種類やOSバージョンによっては、“Yamaha Motorcycle Connect”をご利用になれない場合があります。

2. シートを開けます。（6-14ページ参照）
3. スクリューを外し、バッテリーカバーを取り外します。



1. バッテリーカバー
2. スクリュー

4. CCUを取り外し、“Yamaha Motorcycle Connect”でCCUのQRコードを読み込みます。

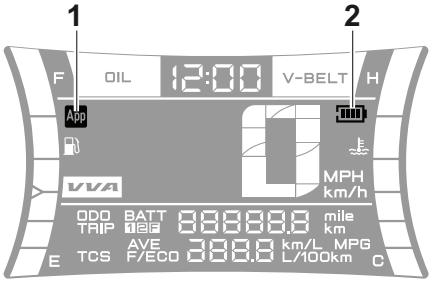


1. CCU（コミュニケーションコントロールユニット）
2. CCUのQRコード

要　点

車台番号を入力してペアリングすることも可能です。(12-2　ページ参照) “Yamaha Motorcycle Connect” のログイン画面をご確認ください。

5. ペアリングが完了すると、“Yamaha Motorcycle Connect” アイコンとスマートフォンのバッテリー残量計が表示されます。



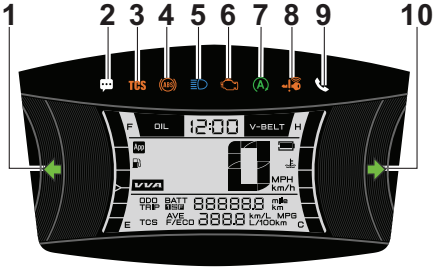
1. “Yamaha Motorcycle Connect” アイコン
2. スマートフォンのバッテリー残量計

要　点

- ペアリングしたスマートフォンは CCU に登録されます。次回、車両の電源をオンにしたとき、“Yamaha Motorcycle Connect” を起動すれば自動的に接続されます。
- CCU　に一度に接続できるスマートフォンは 1 台です。

JAU4939P

警告灯と表示灯



1. 方向指示器表示灯（左）“⇦”
2. アプリ通知表示灯 “”
3. トラクションコントロールシステム表示灯 “TCS”
4. ABS 警告灯 “(ABS)”
5. ヘッドライト上向き表示灯 “”
6. エンジン警告灯 “”
7. アイドリングストップ表示灯 “Ⓐ”
8. スマートキーシステム表示灯 “”
9. 着信表示灯 “”
10. 方向指示器表示灯（右）“⇨”

JAU88900

方向指示器表示灯 “⇦” / “⇨”

方向指示器に合わせて点滅します。

JAU88910

ヘッドライト上向き表示灯 “”

ヘッドライトを上向きにすると点灯します。

JAU88920

エンジン警告灯 “”

エンジンや車両制御の電気回路に異常が発生したとき、警告灯が点灯します。警告灯が点灯したときは、ヤマハ販売店で車載故障診断装置の点検を受けてください。

要　点

車両の電源をオンにしたとき、警告灯が数秒間点灯し、その後消灯します。点灯しないときや消灯しないときは、ヤマハ販売店で車の点検を受けてください。

JAU88890

ABS 警告灯 “(ABS)”

車両の電源をオンにするとABS警告灯が点灯し、走行し始めると消灯します。走行中に警告灯が点灯した場合、ABS が正しく機能しない可能性があります。

JWA16043

⚠ 警　告

10 km/h 以上の速度で走行しても警告灯が消灯しない、または走行中に警告灯が点灯したとき

- **急ブレーキなどでホイールがロックしないよう、慎重にブレーキをかけてください。**
- **直ちにヤマハ販売店でブレーキシステムの点検を受けてください。**

要　点

メインスタンドを立てた状態でエンジンの回転を上げると、ABS 警告灯が点灯することがあります。

JAU88930

トラクションコントロールシステム表示灯 “TCS”

トラクションコントロールシステムが作動すると点滅し、オフになると点灯します。(6-11 ページを参照)

要　点

車両の電源をオンにしたとき、表示灯が数秒間点灯し、その後消灯します。車両の電源をオンにしたときに表示灯が点灯しない場合や、点灯したままになっている場合は、ヤマハ販売店で車の点検を受けてください。

JAUN2770

スマートキーシステム表示灯 “”

スマートキーシステムが正常に作動している場合、この表示灯は消灯しています。車両とスマートキーが通信しているとき、またはスマートキーに関連する操作が行われたとき、この表示灯は点滅します。

要　点

走行中、スマートキーが検知できない場合（スマートキーがポケットから落ちた場合や、強い電波、ノイズのある場所にある場合

など）も、スマートキーシステム表示灯が点滅します。スマートキーの場所と状態を確認してください。

JAUN2830

アイドリングストップ表示灯 “Ⓐ”
アイドリングストップが起動すると点灯し、エンジンが自動的に停止すると点滅します。

要　点

アイドリングストップスイッチを “Ⓐ” の位置にしても、表示灯が点灯しない場合があります。（4-1 ページ参照）

JAUN2781

着信表示灯 “ ”
接続しているスマートフォンに着信があると点滅します。電話に出なかった場合は、車両の電源をオフにするまで表示灯が点灯します。

要　点

この機能は、スマートフォンが車両と接続されているときのみ作動します。

JAUN2792

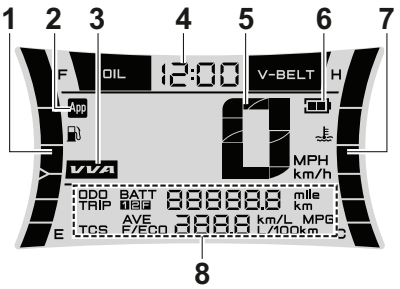
アプリ通知表示灯 “ ”
接続中のスマートフォンが SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）や電子メールなどの通知を受信すると、10 秒間点滅します。その後、車両の電源をオフにするまで表示灯は点灯します。

要　点

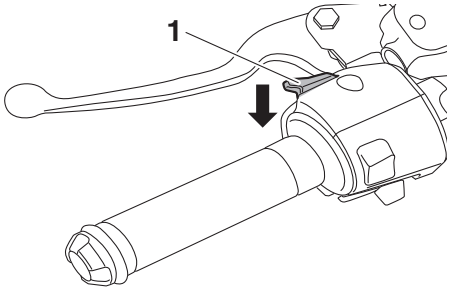
- この機能は、スマートフォンが車両と接続されているときのみ作動します。
- あらかじめ接続するスマートフォンのアプリごとに通知設定が必要です。

JAU86813

マルチファンクションメーター



1. 燃料計
2. “Yamaha Motorcycle Connect” アイコン
3. VVA（可変バルブ機構）表示
4. 時計
5. スピードメーター
6. スマートフォンのバッテリー残量計
7. 水温計
8. マルチファンクションディスプレイ



1. メニュースイッチ “MENU”

JWA12423

⚠警 告

マルチファンクションメーターの設定変更をする前に、必ず車両を停止してください。走行中に設定の変更を行うと、操作に気をとられて事故を起こすおそれがあります。

JAUN2861

“Yamaha Motorcycle Connect” アイコン

“Yamaha Motorcycle Connect” を使用し、CCU とスマートフォンを接続するとアイコンを表示します。

要 点

スマートフォンと接続していなくても、車両の電源をオンにしたとき、アイコンが数秒間点灯し、その後消灯します。車両の電源をオンにしたときにアイコンが点灯しない場合は、ヤマハ販売店で車の点検を受けてください。

JAUN2873

スマートフォンのバッテリー残量計

接続しているスマートフォンの現在のバッテリー残量を表示します。バッテリー残量が減ると残量計のセグメントの数が減ります。残りが約 10%以下になると、残りの 1 セグメントが点滅して知らせます。

要 点

スマートフォンと接続していなくても、車両の電源をオンにしたとき、残量計が数秒間点灯し、その後消灯します。車両の電源をオンにしたときに残量計が点灯しない場合は、ヤマハ販売店で車の点検を受けてください。

JAU86821

表示単位切り替え

キロメートルとマイルの単位を切り替えることができます。

表示単位の切り替えかた

1. 車両の電源をオフにします。
2. “MENU” スイッチを押しながら、車両の電源をオンにします。
3. “MENU” スイッチを表示が単位切り替え設定画面に切り替わるまで約5秒間押し続けます。
4. “MENU” スイッチを押すと、“km” と “km/L” → “km” と “L/100km” → “mile” と“MPG”の順で単位が切り替わります。
5. “MENU” スイッチを長押しして単位を決定します。

要 点

走行前に必ずキロメートル単位になっていることを確認してください。

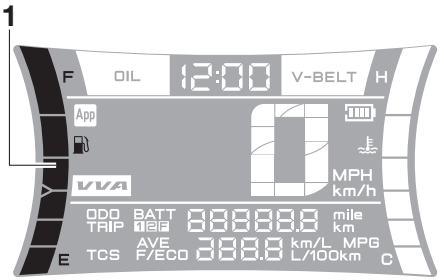
JAU86831

スピードメーター

車の速度を示します。

JAU86841

燃料計



1. 燃料計

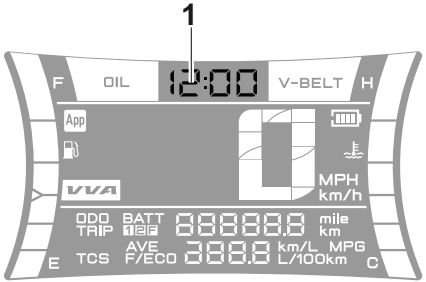
フューエルタンク内の燃料残量を表示します。残量が減ると、燃料計のセグメントが “F”（満）から “E”（空）の方向に消灯していきます。残量が約 1.7 L になると、最後のセグメントが点滅を始めます。早めに補給してください。

要 点

燃料計の電気回路に異常が検出された場合、燃料計のすべてのセグメントが点滅を始めます。この場合は、ヤマハ販売店に車の点検を依頼してください。

JAUN2921

時計



1. 時計

この時計は 12 時間表示です。

時刻調整のしかた

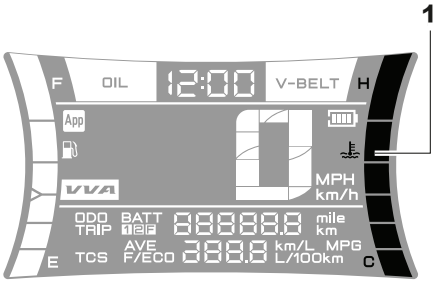
1. “ODO” と “F/ECO” を表示させた状態で、“MENU” スイッチを＜時＞の表示が点滅するまで押します。
2. “MENU” スイッチを使用して＜時＞を設定します。
3. “MENU” スイッチを＜分＞の表示が点滅するまで押します。
4. “MENU” スイッチを使用して＜分＞を設定します。
5. “MENU” スイッチを＜分＞の点滅が止まるまで押します。

要　点

車両の電源をオンにし、CCU とスマートフォンを接続すると、時計は自動調整されます。

JAU86860

水温計



1. 水温計

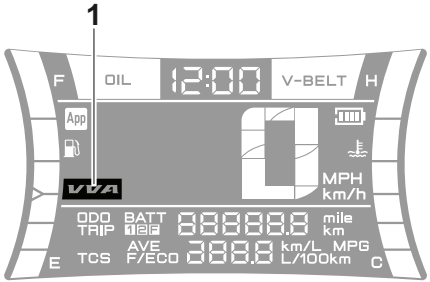
冷却水の温度を表示します。温度が上がると水温計のセグメントが “C”（冷）から “H”（熱）方向に増えていきます。一番上のセグメントが点滅した場合、エンジンを止めて冷やしてください。

要　点

水温計の電気回路に異常が検出された場合、水温計のすべてのセグメントが点滅を始めます。この場合は、ヤマハ販売店に車の点検を依頼してください。

JAU86870

VVA 表示



1. VVA（可変バルブ機構）表示

この車には、低速域から高速域まで優れた燃費と加速を実現する可変バルブ機構（VVA）が装備されています。VVA 表示は可変バルブ機構が高速域に切り替わると点灯します。

VVA 表示のオンとオフの切り替えかた

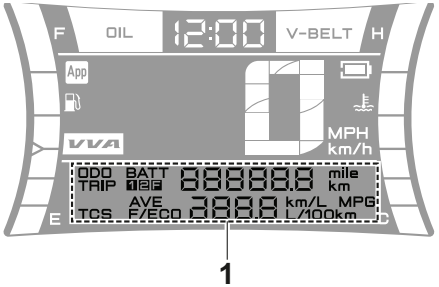
1. 車両の電源をオフにします。
2. “MENU” スイッチを押しながら車両の電源をオンにします。
3. “MENU” スイッチを押し続けると、約 5 秒後に単位切り替え設定画面が表示されます。さらに約 10 秒間スイッチを押し続けると、VVA 表示以外のすべてのセグメントが点滅します。すべてのセグメントが点滅したらスイッチを離します。
4. “MENU” スイッチを押してオンとオフを切り替えます。
5. “MENU” スイッチを長押しして決定します。

要　点

VVA 表示をオフにしても、可変バルブ機構はオフになりません。

JAUN2801

マルチファンクションディスプレイ



1. マルチファンクションディスプレイ

マルチファンクションディスプレイには以下の機能があります。

- オドメーター (ODO)
- トリップメーター (TRIP 1/TRIP 2)
- フューエルトリップメーター (TRIP F)
- エンジンオイルトリップメーター　(OIL TRIP)
- エンジンオイル交換表示
- V ベルトトリップメーター (V-BELT TRIP)
- V ベルト交換表示
- 瞬間燃費表示 (F/ECO)
- 平均燃費表示 (AVE F/ECO)
- バッテリー電圧表示 (BATT)
- トラクションコントロールシステム表示

“MENU” スイッチを押すごとに、下記の順で表示が切り替わります。

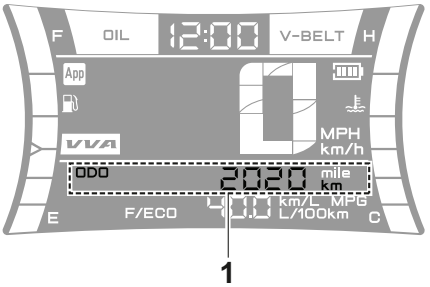
ODO、F/ECO → TRIP 1、AVE F/ECO → TRIP 2、AVE F/ECO → TRIP F → BATT → TCS → OIL TRIP → V-BELT TRIP → ODO、F/ECO

要　点

- 燃料が少なくなると、フューエルトリップメーターが表示されます。
- 走行中はエンジンオイルトリップメーターと V ベルトトリップメーターは表示されません。
- 各トリップメーター (TRIP1 および TRIP2) の平均燃費が表示されます。トリップメーターをリセットすると、そのトリップメーターの平均燃費もリセットされます。

JAU86890

オドメーター



1. オドメーター

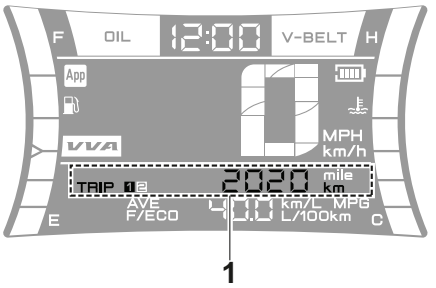
走行した総距離を表示します。

要　点

オドメーターは、最大値（999999 km）を超えると最大値で固定されます。

JAU86900

トリップメーター



1. トリップメーター

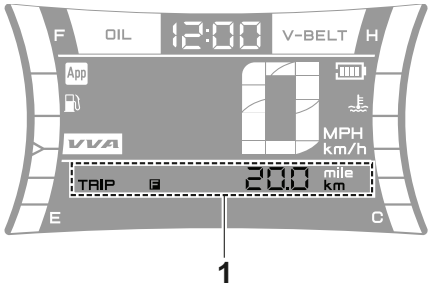
最後にゼロに設定した地点からの走行距離を表示します。
トリップメーターをリセットするには、リセットしたいトリップメーターを表示させ、“MENU” スイッチをリセットされるまで押します。

要　点

トリップメーターは、最大値（9999.9 km）を超えるとリセットされます。

JAU86910

フューエルトリップメーター



1. フューエルトリップメーター

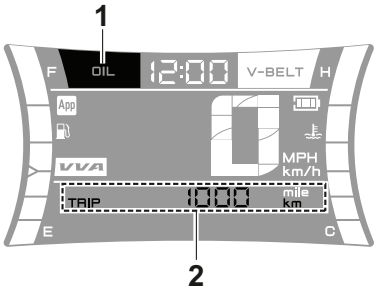
燃料計の最後のセグメントが点滅を始めると、自動的にフューエルトリップメーター“TRIP F” に切り替わり、その地点からの走行距離の計測を始めます。
フューエルトリップメーターをリセットするには、“MENU” スイッチをリセットされるまで押します。

要　点

フューエルトリップメーターはリセットしなくても、ガソリンを給油後約 5 km 走行すると自動的にリセットされて表示されなくなります。

JAUN3060

エンジンオイルトリップメーター



1. エンジンオイル交換表示 “OIL”
2. エンジンオイルトリップメーター

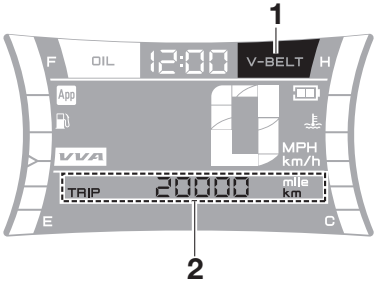
最後にオイル交換をしてからの走行距離を表示します。初回は 1000 km 走行時、次に 5000 km 走行時、以降は 6000 km 走行するごとに、エンジンオイル交換表示 “OIL” が点滅します。
エンジンオイルトリップメーターとエンジンオイル交換表示をリセットするには、エンジンオイルトリップメーターを表示させ、“OIL” とエンジンオイルトリップメーターが点滅するまで “MENU” スイッチを押します。“OIL” とエンジンオイルトリップメーターが点滅している間に、“MENU” スイッチをリセットされるまで押します。

要　点

オイル交換したときは、エンジンオイルトリップメーターとエンジンオイル交換表示をリセットしてください。交換時期がずれてしまいます。

JAUW4880

V ベルトトリップメーター



1. V ベルト交換表示 “V-BELT”
2. V ベルトトリップメーター

最後に V ベルトを交換してからの走行距離を表示します。20000 km 走行するごとに、V ベルト交換表示 “V-BELT” が点滅します。
V ベルトトリップメーターと V ベルト交換表示をリセットするには、V ベルトトリップメーターを表示させ、“V-BELT” と V ベルトトリップメーターが点滅するまで “MENU” スイッチを押します。“V-BELT” と V ベルトト

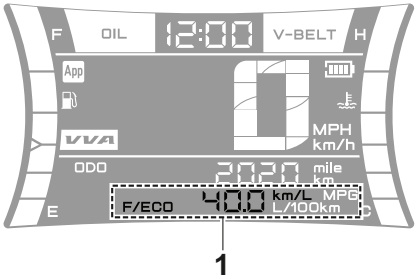
リップメーターが点滅している間に、“MENU” スイッチをリセットされるまで押します。

要　点

V ベルトを交換したときは、V ベルトトリップメーターと V ベルト交換表示をリセットしてください。交換時期がずれてしまいます。

JAU86941

瞬間燃費表示



1

1. 瞬間燃費表示

現在の走行状態における燃費を表示します。“km/L” または “L/100 km” を表示することができます。(6-3 ページ参照)

- “km/L”: 1.0 L の燃料で走行できる距離が表示されます。
- “L/100 km”: 100 km の走行に必要な燃料の量が表示されます。

要　点

- 10　km/h 未満の速度で走行している場合は、“_ _._” と表示されます。
- “MPG” はマイル単位の表示です。走行前に必ずキロメートル単位になっていることを確認してください。

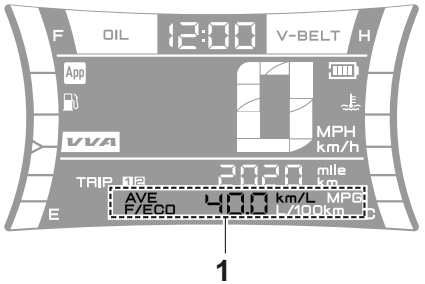
JAU87790

要　点

瞬間燃費は一般的な参照値としてのみ使用してください。この数値から、現在の燃料で走行できる距離を推定しないでください。

JAU86951

平均燃費表示



1

1. 平均燃費表示

最後にリセットした時点からの平均燃費を表示します。“km/L” または “L/100 km” を表示することができます。(6-3 ページ参照)

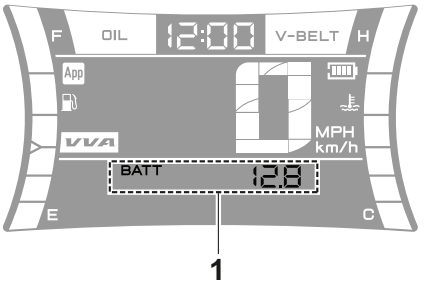
- “km/L”: 1.0 L の燃料で走行した平均距離が表示されます。
- “L/100 km”: 100 km 走行するために使用した燃料の平均量が表示されます。

要　点

- 平均燃費表示をリセットするは、“MENU” スイッチをリセットされるまで押します。
- 平均燃費表示をリセット後は、ある程度走行するまで “_ _._” と表示されます。
- “MPG” はマイル単位の表示です。走行前に必ずキロメートル単位になっていることを確認してください。

JAU89220

バッテリー電圧表示



1

1. バッテリー電圧表示

バッテリーの電圧を表示します。

要　点

バッテリーの電圧が 9.0 V 以下の場合は、“_ _._” が表示されます。

JAU12333

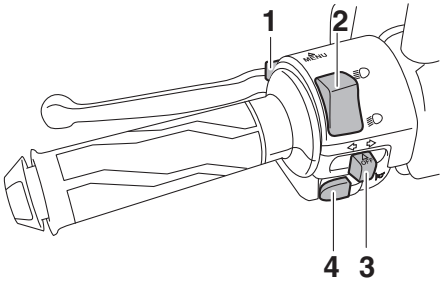
盗難警報器（別売アクセサリー）

この車には、別売アクセサリーの盗難警報器を装着することができます。装着については、お買いあげのヤマハ販売店にご相談ください。

JAU1234R

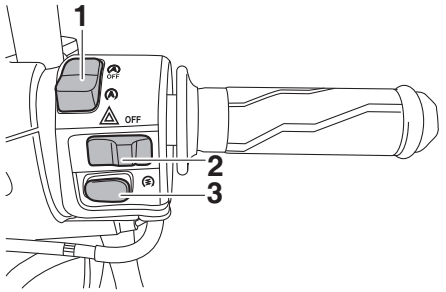
ハンドルスイッチ

<左>



1. メニュースイッチ “MENU”
2. ヘッドライト上下切り替えスイッチ “≡O/≡O”
3. 方向指示器スイッチ “⇦/⇨”
4. ホーンスイッチ “ ”

<右>

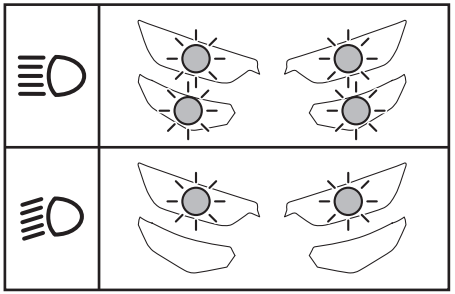


1. アイドリングストップスイッチ “Ⓐ/Ⓐ”
2. ハザードスイッチ “⚠”
3. スタータースイッチ “(≋)”

JAU12402

ヘッドライト上下切り替えスイッチ “≡D/≡D”

ヘッドライトの配光を上向き、下向きに切り替えるスイッチです。
≡D（上向き）：遠くを照らします。
≡D（下向き）：近くを照らします。



要　点

先行車や対向車があるときは、ヘッドライトを下向きにしてください。

JAU12461

方向指示器スイッチ “⇦/⇨”

進路変更の合図に使用します。
操作は、進路変更する側にスイッチをスライドさせます。
消灯するときは、スイッチを押します。
⇨：右側の方向指示灯が点滅します。
⇦：左側の方向指示灯が点滅します。

JWA11641

⚠ 警 告

方向指示灯は自動的に消灯しません。使用後は、必ず消灯してください。点滅したままにしておくと、他のかたの迷惑になります。

JCA11983

注 意

電球を交換するときは、正規のワット数のものを使用してください。正規のワット数以外のものを使用すると、正常に作動しません。

JAU12501

ホーンスイッチ “📯”

スイッチを押すとホーンが鳴ります。

要　点

必要なときにのみ使用してください。

JAU12722

スタータースイッチ “Ⓢ”

サイドスタンドを上げた状態で、リヤブレーキレバーを握りながらこのスイッチを押すと、スターターモーターが回転しエンジンが始動します。

JCA11882

注 意

- **スターターモーターを連続して回転させないでください。消費電力が多いためバッテリーあがりの原因となります。**
- **エンジンを始動させる前に、8-1 ページの始動手順を参照してください。**

JAU79500

ハザードスイッチ “⚠”

車両の電源をオンにした状態で、スイッチを “⚠” にスライドし、ハザードランプを点滅させます（全ての方向指示器が点滅します）。ハザードランプは、故障などの非常時に他車に知らせるために使用します。

JCA11891

注 意

バッテリーあがりを防ぐため、ハザードランプを長時間使用しないでください。

JAU54232

メニュースイッチ “MENU”

このスイッチは、マルチファンクションメーターの設定を行うときに使用します。（6-2 ページ参照）

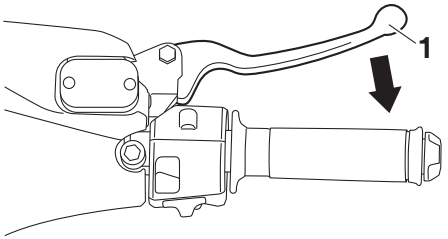
JAU76391

アイドリングストップスイッチ “Ⓐ/Ⓐ”

アイドリングストップ機能をオンにするには、スイッチを “Ⓐ” の位置にします。オフにするには、スイッチを “Ⓐ” の位置にします。

JAU12902

フロントブレーキレバー

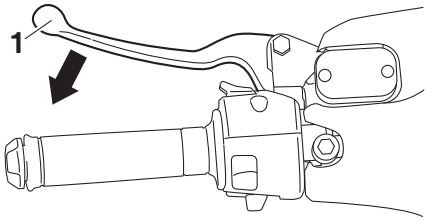


1. フロントブレーキレバー

フロントブレーキレバーは、ハンドルの右側に取り付けられています。フロントブレーキをかけるには、このレバーをスロットルグリップに向けて握ります。

JAU12952

リヤブレーキレバー



1. リヤブレーキレバー

リヤブレーキレバーは、ハンドルの左側に取り付けられています。リヤブレーキをかけるには、このレバーをハンドルのグリップに向けて握ります。

JAU90180

ABS

アンチロックブレーキシステム（ABS）は、フロントブレーキとリヤブレーキで、それぞれ独立して働きます。

JWA15363

⚠警 告

- **ABS　は制動距離を短くする装置ではありません。**
- **未舗装路や砂利道など路面の状況により、ABS のない車に比べて制動距離が長くなることがあります。速度はひかえめにし、車間距離を充分にとってください。**

ブレーキの使いかた

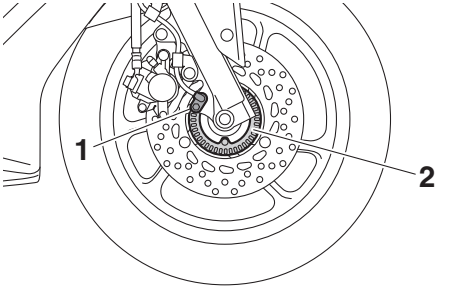
通常のブレーキと同様に、ブレーキレバーを操作します。ブレーキをかけたとき、ホイールスリップが検知されると ABS が作動し、ブレーキレバーに振動を感じます。そのままブレーキをかけ続けてください。制動距離が伸びるため、ブレーキを握ったり放したりしないでください。

- エンジン始動後、走行を始めたときに ABS は自己診断を行います。この間にハイドロリックユニットからカチカチ音が聞こえたり、ブレーキレバーに振動を感じたりしますが、故障ではありません。
- ABS が故障すると、通常のブレーキシステムとなります。

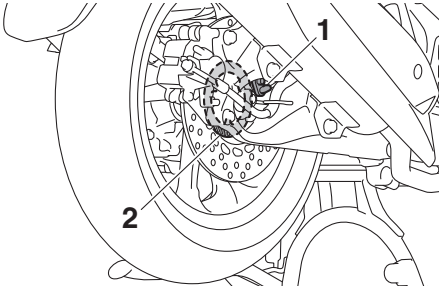
JCA20100

注 意

ホイールセンサーやホイールセンサーローターを傷つけないでください。ABS の性能が低下するおそれがあります。



1. フロントホイールセンサー
2. フロントホイールセンサーローター



1. リヤホイールセンサー
2. リヤホイールセンサーローター

JAUN2811

トラクションコントロールシステム

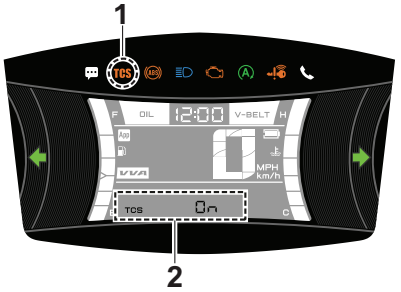
トラクションコントロールシステムは、未舗装または濡れた道路のような滑りやすい路面で加速するとき、加速時の駆動力を効率良く路面に伝達する働きをします。センサーが後輪のスリップを検知すると、トラクションコントロールシステムにより、スリップ状態が回復するまでエンジン出力を制御します。トラクションコントロールが有効になると、“TCS” 表示灯が点滅します。

JWA15433

⚠警 告

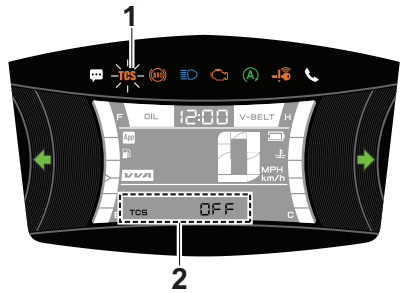
トラクションコントロールシステムは、道路の状況に合わせた適切な走行をするための機能ではありません。またトラクションコントロールシステムは、スピードが出過ぎたまま曲がり角に進入するときや、車体を大きく傾斜させた状態での急な加速、ブレーキ中に起こるトラクションの低下やフロントホイールのスリップを防ぐことができません。他の車と同じように、滑りやすい路面に進入するときは注意して走行し、特に滑りやすい路面の走行はやめてください。

トラクションコントロールシステムの設定



1. トラクションコントロールシステム表示灯 “TCS”
2. トラクションコントロールシステム表示

車両の電源が ON になると、トラクションコントロールも自動的に ON になります。
トラクションコントロールシステムをOFFにするには、メニュースイッチ “MENU” を使用して、マルチファンクションディスプレイをトラクションコントロールシステム表示に変更します。メニュースイッチを 3 秒押すと “TCS OFF” が表示され、“TCS” 表示灯が点灯します。



1. トラクションコントロールシステム表示灯 “TCS”
2. トラクションコントロールシステム表示

要　点

車両が泥や砂などの軟らかい地面にはまったとき、トラクションコントロールシステムを OFF にすると、抜け出しやすくなる場合があります。

JCA16801

注 意

必ず指定タイヤを使用してください。(9-9 ページ参照) 指定サイズ以外のタイヤを使用すると、トラクションコントロールシステムはタイヤの回転を正確に制御することができません。

トラクションコントロールシステムのリセット

トラクションコントロールシステムは、センサーの故障が検知されたとき、片方の車輪のみが回転したときなどに、自動的に OFF になります。この場合、“TCS” 表示灯が点灯するほか、“” 警告灯も点灯することがあります。



1. トラクションコントロールシステム表示灯 “TCS”
2. エンジン警告灯 “”

要　点

メインスタンドがかかっている場合は、過剰にエンジンを回転させないでください。トラクションコントロールシステムが自動的に OFF になり、リセット操作が必要になります。

トラクションコントロールシステムが自動的に OFF になった場合は、次のようにリセット操作をしてください。

1. 車両を停車させ、電源を OFF にします。
2. 数秒後、車両の電源を ON にします。
3. “TCS” 表示灯が消灯し、システムが ON になります。

要　点

リセット操作後も “TCS” 表示灯が点灯したままの場合は、乗車は可能ですが、速やかにヤマハ販売店で車両の点検を受けてください。

4. ヤマハ販売店で車両の点検を受け、“” 警告灯を消灯してもらいます。

6

フューエルタンクキャップ

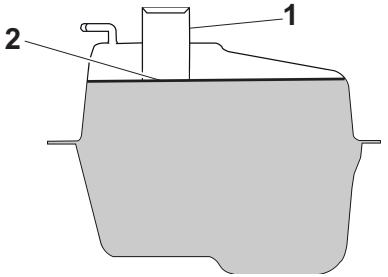
JAU92500

JWA12172

⚠警 告

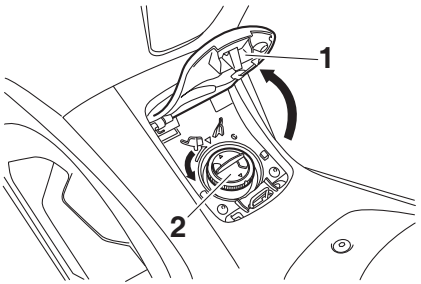
給油時およびガソリンを取り扱う場合は、次のことを必ず守ってください。

- **給油時は必ずエンジンを止め、火気を近づけないでください。ガソリンは揮発性が高く、引火しやすい燃料です。**
- **フューエルタンクキャップを開ける前に、車体などの金属部分に触れて静電気の除去を行ってください。身体に静電気を帯びた状態で給油すると、放電による火花で引火する場合があり、ヤケドするおそれがあります。**
- **給油操作は、必ず一人で行ってください。複数で行うと静電気が除去できない場合があります。**
- **給油は、必ず屋外で行ってください。**
- **セルフサービスのガソリンスタンドで給油するときは、ガソリンの吹きこぼれがないよう、慎重に給油してください。**
- **給油限度（フィラーチューブ下端まで）を超えてガソリンを入れないでください。走行中にガソリンがにじみ出ることがあり危険です。**
- **給油後、フューエルタンクキャップを確実に閉めてください。**



1. フィラーチューブ
2. 給油限度

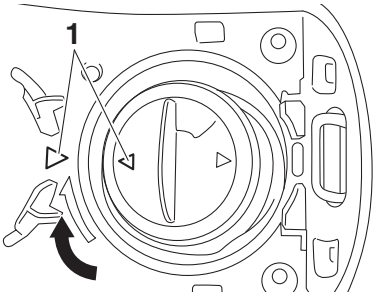
フューエルタンクに給油するには、フューエルタンクキャップリッドを開けます。(3-7 ページ参照)



1. フューエルタンクキャップリッド
2. フューエルタンクキャップ

フューエルタンクキャップを反時計回りに回し、キャップを取り外します。

キャップを取り付けるには、フューエルタンクキャップを給油口に挿入し、キャップ側の“△”マークと車体側の“▽”マークが合う位置まで時計方向に回します。



1. “△”マーク

JAU31461

燃料

JAU28313

指定燃料

指定燃料：
　無鉛レギュラーガソリン
タンク容量：
　約 7.1 L

JCA12512

注 意

- **必ず指定燃料を使用してください。高濃度アルコール含有燃料や軽油、粗悪ガソリンなど、指定以外の燃料を使用するとエンジンの始動性が悪くなったり、出力低下などのエンジン不調の原因となる場合があります。また、エンジンや燃料系の部品を損傷するおそれがあります。**
- **こぼれたガソリンは、布切れなどできれいにふき取ってください。**
- **タンクにゴミやチリなどの不純物が入らないように注意してください。**

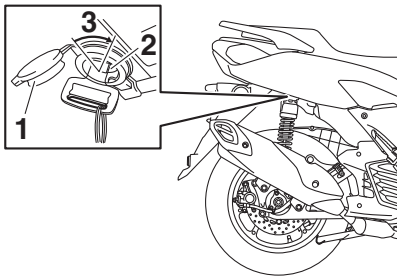
JAU89400

シート

シートの開けかた

メインスイッチを使用する場合
メインスイッチを OPEN にし、“SEAT” ボタンを押します。(3-7 ページを参照)

メカニカルキーを使用する場合
1. シートロックカバーを開けます。



1. シートロックカバー
2. シートロック
3. 解除

2. キーをシートロックに差し込み、時計方向に回します。
3. シート後部を持ち上げます。

JCA24020

注 意

メカニカルキーを使用しないときはシートロックカバーを閉めてください。

シートの閉めかた

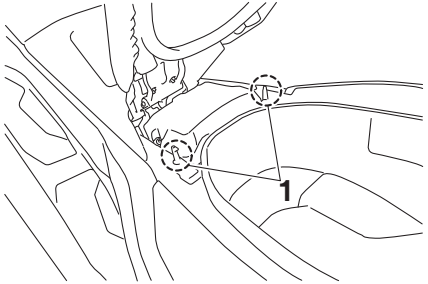
シートを下ろし、シート後部を押さえてロックします。

要　点

走行前に、必ず、シートが確実にロックされているか確認してください。

JAU37482

ヘルメットホルダー



1. ヘルメットホルダー

ヘルメットホルダーはシートの下にあります。
ヘルメットのあごひもの金具部分を掛け、シートを閉めます。

JWA11651

⚠ 警 告

ヘルメットをヘルメットホルダーに掛けたまま走行しないでください。ヘルメットが運転を妨げ、思わぬ事故の原因になったり、車の部品に損傷を与えたり、またヘルメットにも損傷を与え保護機能を低下させます。

JAU28521

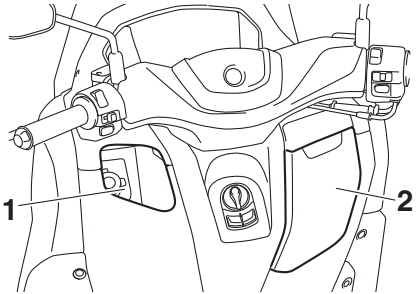
書類入れ

メンテナンスノート、自賠責保険証はビニール袋に入れて、トランク内に保管してください。

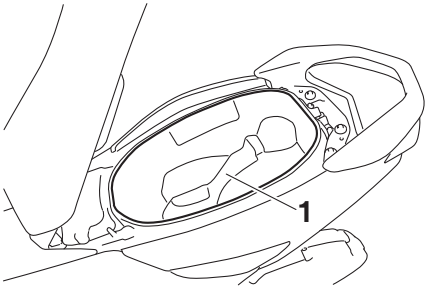
JAUN2612

小物入れとトランク

以下の位置に小物入れ 2 つとトランクがあります。



1. 小物入れ A
2. 小物入れ B



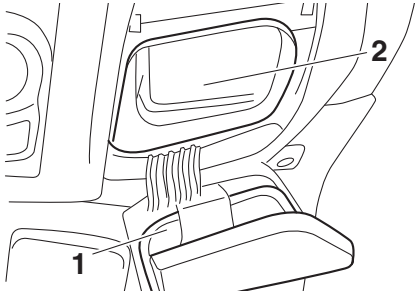
1. トランク

要　点

ヘルメットのサイズや形状によっては、トランクに収納できないものもあります。

小物入れ B

小物入れ B を開けるときは、リッドを引きロックを解除してから開けます。



1. リッド
2. 小物入れ B

閉めるときはリッドを押して元の位置に戻します。

トランク

トランクを開けるときは、メインスイッチを OPEN にし、“SEAT” ボタンを押します。(3-7 ページを参照)

要　点

車から離れるときは、必ずシートをロックしてください。

JCA15964

注 意

- **シートは長時間開けたままにしないでください。バッテリーあがりの原因となります。**
- **洗車をすると中に水が入ることがあります。大切な物は、ビニール袋などに入れて収納してください。**
- **濡れた物は、ビニール袋に入れてから収納してください。濡れたまま収納すると、トランク内にカビなどが発生することがあります。**
- **貴重品やこわれやすい物は入れないでください。**
- **トランク内は直射日光、エンジンの熱などで温度が高くなります。熱の影響を受けやすい用品、食料品または可燃性のものは入れないでください。**

JWA20590

⚠警 告

以下の荷重制限を越えないでください。
- **小物入れ A: 1.5 kg**
- **小物入れ B: 0.3 kg**
- **トランク : 5.0 kg**

JAUN3020

リヤクッションの調整

リヤクッションにはスプリングプリロードアジャスターが装備されています。

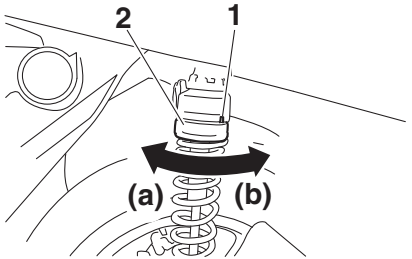
JWA10211

⚠警 告

アジャスターは左右同じ位置に調整してください。左右が異なると操縦安定性に悪影響をおよぼします。

スプリングプリロード

プリロードアジャスターを (a) 方向に回すと、スプリングプリロードが大きくなります。
プリロードアジャスターを (b) 方向に回すと、スプリングプリロードが小さくなります。
アジャスターの番号（1 または 2）を、リヤクッションのインジケーターに合わせます。



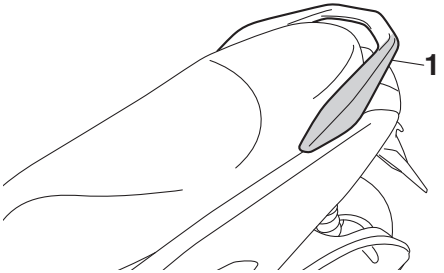
1. インジケーター
2. スプリングプリロードアジャスター

スプリングプリロード：
1：標準
2：最大（ハード）

JAU29911

スタンディングハンドル

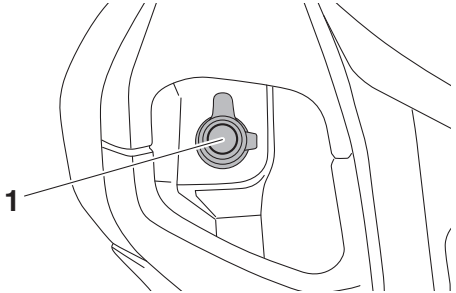
メインスタンドを立てたり戻したりするときに、右手で持ちます。



1. スタンディングハンドル

JAUN2161

パワーアウトレット



1. パワーアウトレットキャップ

パワーアウトレットは小物入れAの中にあります。
パワーアウトレットに接続した12Vのアクセサリーは、エンジンを始動した状態で使用します。

JCAN0140

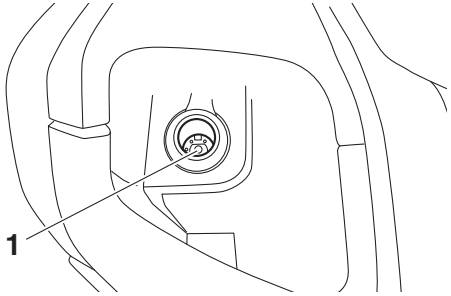
注 意

パワーアウトレットに接続するアクセサリーは、エンジンが停止している場合には使用しないでください。また、接続負荷が 12 W (1 A) を決して超えないようにしてください。ヒューズ切れや、バッテリーあがりを起こす可能性があります。
洗車時にはパワーアウトレットに直接水をかけないようにしてください。

パワーアウトレットの使いかた

1. メインスイッチを OFF にします。

2. パワーアウトレットキャップを取り外します。
3. アクセサリーをオフにします。
4. アクセサリーのプラグをパワーアウトレットに差し込みます。



1. パワーアウトレット

5. メインスイッチを ON にし、エンジンを始動します。(8-1 ページ参照)
6. アクセサリーをオンにします。

JWAN0050

⚠警 告

感電または短絡を防止するため、パワーアウトレットを使用しない場合は、必ずキャップを取り付けてください。

JAU70641

DC コネクター

この車には DC コネクターが搭載されています。ご使用については、お買いあげのヤマハ販売店にご相談ください。

JAU15306

サイドスタンド

サイドスタンドはフレームの左側にあります。車を直立にした状態で、足でサイドスタンドを上げ下げします。

要 点

この車にはサイドスタンドスイッチが装備されています。(サイドスタンドスイッチについては次の項目を参照してください。)

JWA10242

⚠警 告

サイドスタンドを下ろした状態で、またはサイドスタンドが正しく上がらない（上がった状態にならない）場合、車を運転しないでください。サイドスタンドが地面に接し、操縦安定性を損なうことがあります。ヤマハのイグニッションサーキットカットオフシステムは、発進前にサイドスタンドの上げ忘れを防止するよう設計されています。従って、定期的にこのシステムを点検してください。正しく機能しない場合にはヤマハ販売店に修理を依頼してください。

JAU62310

イグニッションサーキットカットオフシステム

イグニッションサーキットカットオフシステム（サイドスタンドスイッチおよびブレーキランプスイッチを含む）には次の機能があります。

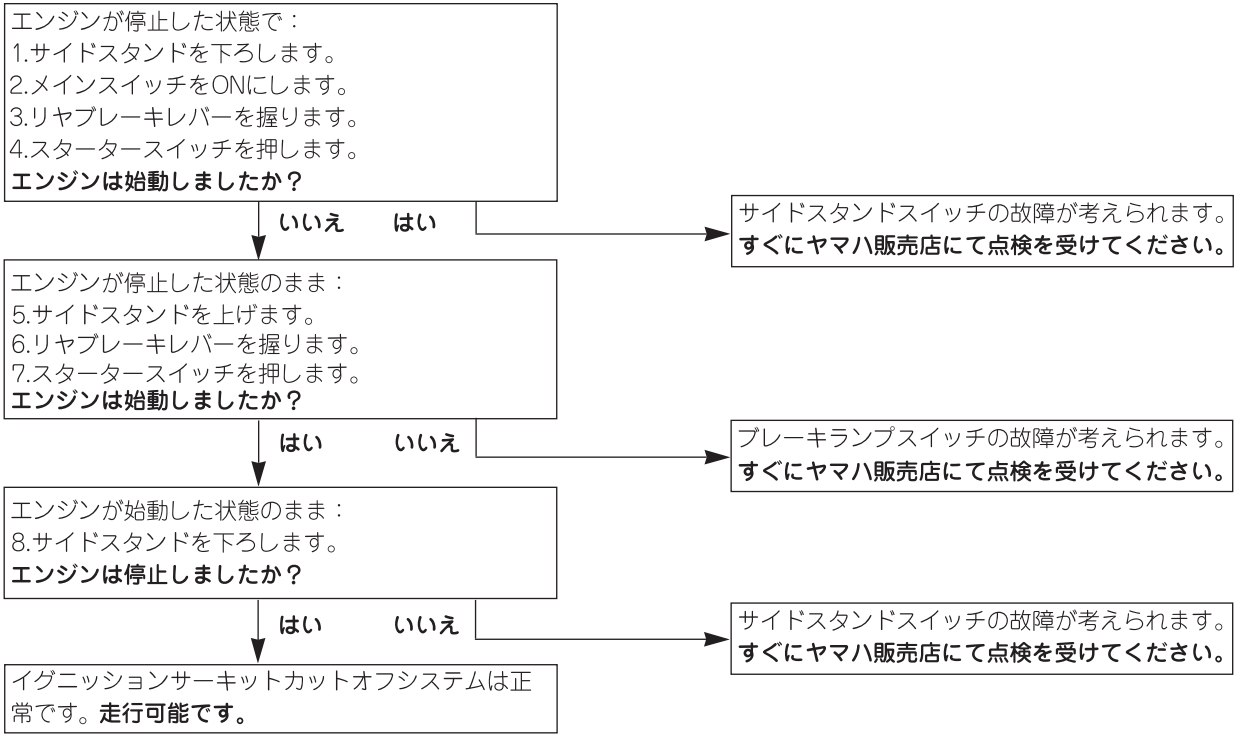
- サイドスタンドが上がっているが、どちらかのブレーキレバーを握っていないとき、エンジンは始動できません。
- どちらかのブレーキレバーを握っているが、サイドスタンドが下がっているとき、エンジンは始動できません。
- サイドスタンドを下げると、エンジンは停止します。

イグニッションサーキットカットオフシステムの作動を、以下の手順に従って定期的に点検してください。

JWA11552

⚠警 告

- **点検中はメインスタンドを立ててください。**
- **点検の結果異常があった場合は、走行前にヤマハ販売店で車の点検を受けてください。**


エンジンが停止した状態で：
1.サイドスタンドを下ろします。
2.メインスイッチをONにします。
3.リヤブレーキレバーを握ります。
4.スタータースイッチを押します。
エンジンは始動しましたか？
いいえ
はい
サイドスタンドスイッチの故障が考えられます。
すぐにヤマハ販売店にて点検を受けてください。
エンジンが停止した状態のまま：
5.サイドスタンドを上げます。
6.リヤブレーキレバーを握ります。
7.スタータースイッチを押します。
エンジンは始動しましたか？
はい
いいえ
ブレーキランプスイッチの故障が考えられます。
すぐにヤマハ販売店にて点検を受けてください。
エンジンが始動した状態のまま：
8.サイドスタンドを下ろします。
エンジンは停止しましたか？
はい
いいえ
サイドスタンドスイッチの故障が考えられます。
すぐにヤマハ販売店にて点検を受けてください。
イグニッションサーキットカットオフシステムは正常です。走行可能です。

日常点検

JAU1559B

日常点検の実施

車を安全で快適に使用いただくため、法または法に準じ、日常の車の使用状況に応じて、使用する人の判断で適時行う点検です。

JWA12032

⚠警 告

- **日常点検を怠ると重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。必ず実施してください。**
- **異常が認められたときは、乗車前にご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。**

要 点

点検整備に使用する工具は、必要に応じてお買い求めください。（モデルにより、サービスツールの有無や内容が異なります。）

JAU30173

日常点検箇所／点検内容

詳しい点検の方法は、9-1 ページ以降の点検整備の方法および別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

点検箇所	点検内容
ブレーキ	● ブレーキレバーの握りしろが適切で、ブレーキのききが充分であること。 ● ブレーキ液の量が適当であること。
タイヤ	● タイヤの空気圧が適当であること。 ● 亀裂、損傷がないこと。 ● 異常な摩耗がないこと。 ● 溝の深さが充分あること。（※）
エンジン	● 冷却水の量が適当であること。（※） ● エンジンオイルの量が適当であること。（※） ● かかり具合が良好で、かつ、異音がないこと。（※） ● 低速、加速の状態が適当であること。（※）
灯火装置および方向指示灯	● 点灯または点滅具合が良好で、かつ、汚れや損傷がないこと。
運行において異常が認められた箇所	● 当該箇所に異常がないこと。

（注）

※ 印の点検は車の走行距離、運行時の状態などから判断した適切な時期（長距離走行時や洗車、給油後など）に実施をしてください。

JWA11733

⚠警 告

安全のため、ご自身の知識、技量にあわせた範囲内で点検・整備を行ってください。難しいと思われる内容はヤマハ販売店にご依頼ください。点検整備するときは安全に充分注意し、下記の内容を守ってください。

- **点検は平坦で足場のしっかりした場所を選び、スタンドを立てて行ってください。**
- **エンジン停止直後は、エンジン本体やマフラー、エキゾーストパイプなどが熱くなっています。直接触れたりしないでください。ヤケドに注意してください。**
- **排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。**
- **走行して点検するときは、交通状況に注意してください。**
- **異常が認められたときは、乗車前にご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。**

JAU31471

ならし運転

JAU27744

ならし運転のしかた

車を長持ちさせるために、ならし運転を行ってください。
乗りはじめてから約1か月間（または1000km走行まで）は、不要な空ぶかしや急加速、急減速はしないでください。

JAU62320

エンジン始動

JWA11562

⚠ 警 告

- **エンジンを始動するときには、6-19 ページに記述された手順で、イグニッションサーキットカットオフシステムの機能を点検してください。**
- **サイドスタンドを下ろした状態で走行しないでください。**

JCA11921

注 意

初めて車両を運転する前に、8-1 ページのならし運転のしかたを参照してください。

要 点

サイドスタンドを下ろした状態では、エンジンは始動できません。また、エンジン始動後、サイドスタンドを出すとエンジンは停止します。

1. メインスタンドを立てます。
2. メインスイッチを ON にします。
3. スロットルを完全に閉じます。
4. リヤブレーキレバーをしっかり握り、スタータースイッチを押して、エンジンを始動させます。

要 点

スタータースイッチで 5 秒以内にエンジンが始動しないときは、バッテリー電圧を回復させるため、10 秒位休ませてからスタータースイッチを押してください。

JCA16661

注 意

- **エンジンを長持ちさせるため、エンジンが冷えている間の急加速や、無用な空ぶかしは避けてください。**
- **長時間のアイドリングはガソリンのムダ使いになるだけでなく、環境への悪影響にもなりますので、やめてください。**
- **通常のアイドリング回転数を必要以上に高くした状態（スロットルグリップを開けて固定した状態など）で、長時間放置しないでください。温度上昇により、エンジンまたは車両が損傷する場合があります。**

発進

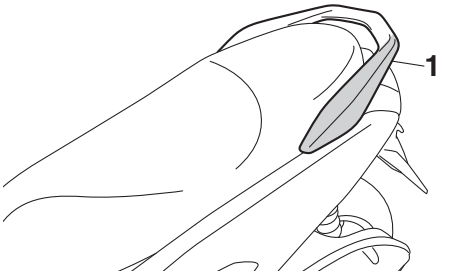
JAU45093

JWA12261

⚠警 告

飛び出し防止のため、走り出すまではエンジンの回転をむやみに上げないでください。

1. 左手でリヤブレーキレバーを握り、右手でスタンディングハンドルを持ちながら、車を前に押し出してメインスタンドを戻します。



1. スタンディングハンドル

JWA12271

⚠警 告

メインスタンドを立てたり戻したりするときは、スロットルグリップを握らないでください。スロットルグリップが回り、車が走り出すことがあります。

2. シートにまたがり、バックミラーを調整します。
3. 方向指示器スイッチを右側に入れ、発進の合図をします。
4. 周りの安全を確認し、スロットルグリップをゆっくりと回して発進します。

JWA12281

⚠警 告

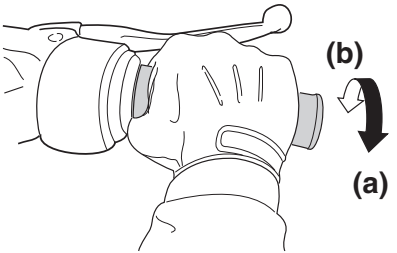
スロットルグリップを急激に手前に回すと、急発進して危険です。

5. 方向指示器を消灯します。

JAU16782

加速と減速

速度の調節は、スロットルを開けたり、閉じたりして行います。速度を上げるには、スロットルグリップを (a) 方向に回します。速度を落とすには、スロットルグリップを (b) 方向に回します。



JCA12682

注 意

- **上り坂で停止するときは、ブレーキを使用してください。スロットルグリップの操作で車を保持すると、クラッチなどが発熱して故障の原因となったり、エンジン警告灯が点灯する恐れがあります。**
- **不要な空ぶかしをしないでください。エンジン警告灯が点灯する恐れがあります。**

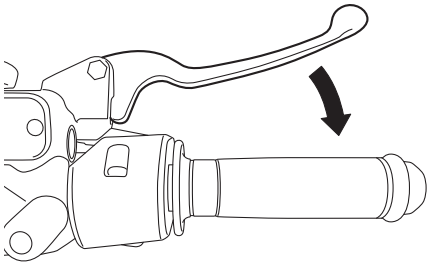
8

JAU16794

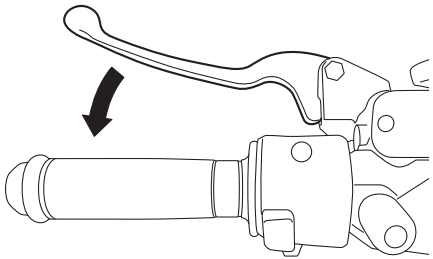
ブレーキ

1. スロットルを完全に閉じます。
2. フロントブレーキとリヤブレーキを同時に、徐々にしぼりこむように握ります。

＜フロントブレーキ＞



＜リヤブレーキ＞



JWA11573

⚠警 告

- **急なブレーキ操作は避けてください（特にどちらか一方に傾いているとき）。横すべりや転倒の原因となります。**
- **踏切、路面電車のレール、道路建設現場の鉄製のプレート、マンホールのフタなどは、濡れているときは極端に滑りやすくなります。そのようなところでは減速し、注意して走行してください。**
- **濡れた路面では、ブレーキがききにくいことを留意してください。**
- **下り坂でのブレーキ操作は非常に困難です。下り坂に差しかかる前までに充分減速してください。**
- **連続したブレーキ操作は避けてください。ブレーキ部の温度が上昇し、ブレーキのききが悪くなるおそれがあります。**

JAUW4891

駐車

駐車するときは、アイドリングストップ機能をオフにしてからエンジンを切ってください。
車から離れるときは、スマートキーを携行してください。
また盗難予防のため、ハンドルロックをかけることをおすすめします。

要　点

- この車両は、バッテリーあがりや盗難を防ぐため、エンスト放置警告機能を装備しています。サイドスタンドを出してエンジンを停止したあと、車両の電源をオンにしたまま放置すると、アラームが鳴って運転者にお知らせする機能です。
- エンスト放置警告機能は無効にすることができます。ヤマハ販売店にお問い合わせください。

JWA18840

⚠警 告

- **エンジンやマフラーは高温になります。通行する人などが触れない場所に駐車してください。**
- **草や可燃物などの火災の危険がある場所には、決して駐車しないでください。**
- **傾斜地や地面が柔らかいところには駐車しないでください。車が転倒することがあります。**

- **アイドリングストップ機能をオンにしたまま放置すると、バッテリーが消耗し、エンジンが再始動できなくなることがあります。**

要　点

お店のガラス越しや家の塀越しなどの隔てた場所に駐車した場合でも、車がスマートキーシステムの作動範囲内にあると、スマートキーを身につけていない他の人でもエンジンの始動や、シートの開閉、フューエルタンクキャップリッドの開閉、ハンドルロックの解除が可能になります。このようなときは、スマートキーをロックの状態にしてください。（スマートキーのロック／アンロック切替操作方法は、3-4 ページを参照してください）

JAU29839

点検整備の実施

日常点検

7-1 ページ「日常点検箇所／点検内容」の表にしたがって、適時実施してください。点検の方法については、本書の以降のページや、別冊「メンテナンスノート」の点検整備のしかた以降のページを参照してください。

定期点検整備

定期点検整備は車を使用する人が自己管理責任で定期的に行う点検整備で、法または法に準じて行うことが義務づけられています。二輪自動車または原動機付自転車については、1 年点検と 2 年点検の 2 種類があります。定期点検項目と基本的な点検内容は別冊の「メンテナンスノート」に記載してあります。ここでは、この車独自の内容を補足説明しています。実際の点検作業にあたっては、別冊「メンテナンスノート」とあわせてご使用ください。

JWA12055

⚠警 告

- **点検整備を怠ると重大な事故、ケガ、トラブルの原因となります。必ず実施してください。**
- **安全のため、ご自身の知識、技量にあわせた範囲内で点検・整備を行ってください。難しいと思われる内容はヤマハ販売店にご依頼ください。**
- **点検するときは安全に充分注意し、以下の内容を守ってください。**
  - **点検は平坦で足場のしっかりした場所を選び、スタンドを立てて行ってください。**
  - **エンジン停止直後の点検は、エンジン本体やマフラー、エキゾーストパイプなどが熱くなっています。ヤケドに注意してください。**
  - **排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。エンジンの始動は風通しのよい屋外で行ってください。**
  - **走行して点検するときは、周囲の交通事情に充分注意してください。**
  - **異常が認められたときは、乗車前にご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。**

JWA15461

⚠警 告

走行直後はブレーキ関係の部品に直接触れないでください。ブレーキディスク、キャリパー、ドラム、ライニングなどは使用すると高温になり、ヤケドするおそれがあります。点検整備はブレーキ関係の部品が充分に冷えてから行ってください。

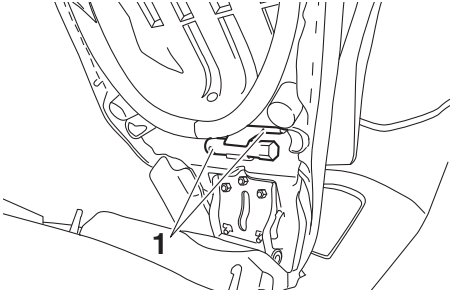
要 点

- 点検整備に使用する工具は、必要に応じてお買い求めください。(モデルにより、サービスツールの有無や内容が異なります。)
- 点検結果は、別冊「メンテナンスノート」の定期点検整備記録簿に記入してください。ご自身でできない項目については、ヤマハ販売店で点検を受け、記録してください。
- 点検の記録は廃車されるまで保存してください。
- メーカー指定項目の点検結果は、定期点検整備記録簿の「その他」の欄に記録してください。

9

JAU85230

サービスツール



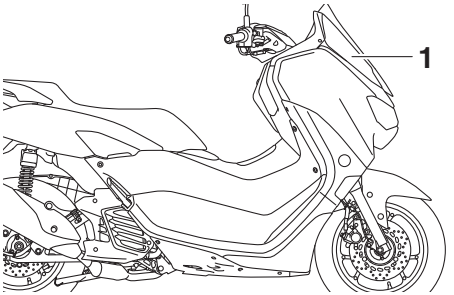
1. サービスツール

サービスツールは図で示す場所にあります。

JAU18752

カバーの取り外し、取り付け

図のカバーは、点検整備などで取り外す必要があります。カバーを取り外すときや、取り付けるときは、この項目を参照してください。



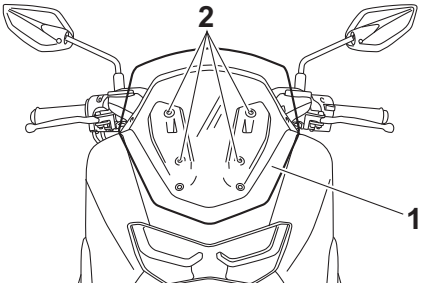
1. カバー A

JAU92520

カバー A

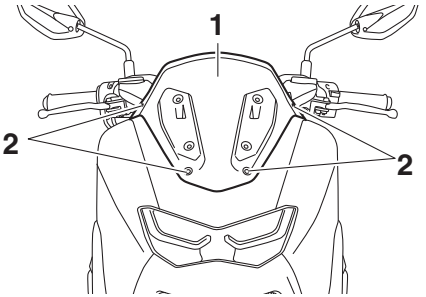
<u>カバーの取り外しかた</u>

1. スクリューを外し、ウインドシールドを取り外します。



1. ウインドシールド
2. スクリュー

2. スクリューを外し、カバーを取り外します。



1. カバー A
2. スクリュー

<u>カバーの取り付けかた</u>

1. カバーを元の位置に取り付け、スクリューを締め付けます。

9

2. ウインドシールドを元の位置に取り付け、スクリューを締め付けます。

JAU30306

エンジンオイル

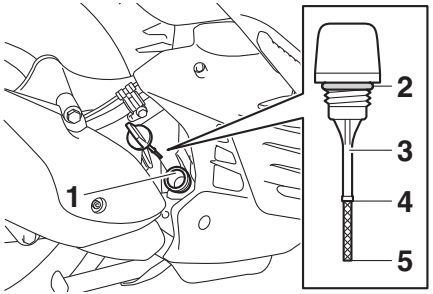
エンジンオイル量の点検

1. 平坦な場所でエンジンを2～3分間アイドリング運転します。

要　点

走行直後でエンジンが充分に暖まっていれば、アイドリング運転は不要です。

2. エンジンを止めてメインスタンドを立てます。（車を垂直にする）2 ～ 3 分後、オイルが安定してからオイルレベルゲージを外します。レベルゲージ部をきれいにふいてオイル注入口に（ねじ込まないで）差し込み、もう一度取り出してオイル量を点検します。



1. オイル注入口
2. O リング
3. オイルレベルゲージ
4. フルレベル
5. ロアレベル

要　点

オイル量がフルレベルとロアレベルの間にあれば適切です。

3. オイル量がロアレベル以下のときは、オイル注入口から補給します。（推奨エンジンオイルについては、10-3 ページ参照）
4. O リングに損傷がないか点検し、損傷がある場合は交換してください。
5. オイルレベルゲージをオイル注入口に差し込み、確実に締めます。

JAU70750

エンジンオイルの交換時期

初回：
1 か月点検時または 1000 km 時
2 回目：
6000 km 時
3 回目以降：
6000 km 走行ごと、または 1 年ごと
エンジンオイル量：
0.90 L

定期交換時期の前でも、エンジンオイルの汚れが著しいときやエンジンオイルが薄茶色に濁っているときは、早めにエンジンオイルを交換してください。汚れや濁りの程度については、ヤマハ販売店にご相談ください。

JWA11861

⚠警 告

- **走行後など、しばらくの間はマフラーやエンジンなどが熱くなっています。ヤケドに注意してください。**
- **油脂類の廃液は、法令（公害防止条例）で適切な処理を行うことが義務づけられています。ヤマハ販売店にご相談ください。**

JCA12261

注 意

- **化学添加剤は一切加えないでください。**
- **補給時に、オイル注入口からゴミなどが入らないように注意してください。**
- **オイルをこぼしたときは、布などでよくふきとってください。**

要 点

- エンジンオイル交換表示 “OIL” は回路の確認のため、走行距離に関係なくメインスイッチを ON にすると一旦表示されます。
- エンジンオイル交換表示 “OIL” が点滅したら、早めにヤマハ販売店でオイル交換を受け、エンジンオイルトリップメーターとエンジンオイル交換表示をリセットしてください。リセットせずにそのまま走行しますと、交換時期がずれてしまいます。（6-2 ページ参照）

JAU30664

ファイナルギヤオイルの交換時期

初回：
1 か月点検時または 1000 km 走行時
2 回目以降：
10000 km 走行ごと
定期交換時オイル量：
0.10 L
推奨オイル：
ヤマルーブ ギヤオイル

ファイナルギヤオイルの交換は、ヤマハ販売店で行ってください。

JAU30691

エンジンのかかり具合、異音の点検

エンジンがすみやかに始動し、スムーズに回転するかを点検します。
エンジンから異音がしないかを点検します。

JAU44194

低速、加速の状態の点検

低速、加速の状態の点検前に以下の点検を行ってください。

- エンジンを停止した状態でスロットルグリップをゆっくり回し、引っ掛かりがなくスムーズに作動することと、手を離したときにスロットルグリップがスムーズに戻ることを点検してください。また、ハンドルを左右にいっぱいに切った状態でも同じ点検を行ってください。
- スロットルケーブルに劣化や損傷などがないか点検してください。また、取り付けの状態も点検してください。
- スロットルケーブルには、ゴムカバーが取り付けられているものがあります。ゴムカバーが確実に取り付けられていることを確認し、洗車時にはゴムカバーに直接水をかけないようにしてください。ゴムカバーの汚れがひどい場合には、水で濡らして固くしぼった布などでふき取ってください。

JWA15531

⚠警 告

ケーブル、ワイヤー類に異常があるときは、早めにヤマハ販売店にご相談ください。異常がある状態で使用を続けると、重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。

アイドリングがスムーズに続くかを点検します。
スロットルグリップを徐々に回してエンジンを加速したとき、スロットルグリップもエンジンもスムーズに回るかを走行などして点検します。このとき、エンジンストール（エンスト）やノッキングなどが起きたら、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU20071

冷却水

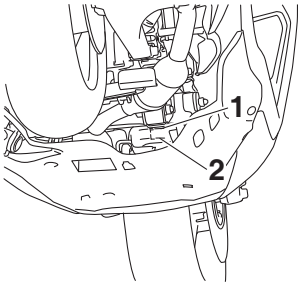
JAU30723

冷却水量の点検

要 点

冷却水量の点検は、エンジンが冷えた状態で、車を平坦なところで垂直にして行ってください。

リカバリータンク内の冷却水量が、フルレベルとロアレベルの範囲内にあるかを点検します。



1. フルレベル
2. ロアレベル

冷却水がロアレベル以下のときは、以下を参照して補充してください。

JAU30805

冷却水のつくりかた

ヤマルーブロングライフクーラントと水道水を１対１で混ぜ合わせます。



JWA11882

⚠警 告

クーラントには毒性がありますので、取り扱いには充分注意してください。
- **目に入ったとき**
  水で充分に洗い流してから、医師の治療を受けてください。
- **皮膚や衣類についたとき**
  すみやかに水洗いした後、セッケン水で洗ってください。
- **飲んだとき**
  すぐにおう吐させ、医師の治療を受けてください。

JCA12112

注 意

混ぜ合わせに使用する水は水道水を使用し、井戸水や塩分の含まれた天然水は使用しないでください。

JAU70770

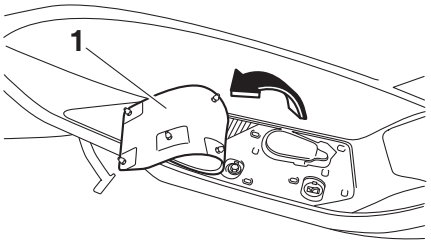
冷却水の補充

リカバリータンク内の冷却水量を点検し、液面がロアレベルより下にあるときは、冷却水をフルレベルまで補充します。

要 点

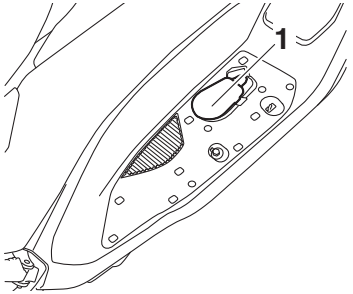
冷却水の補充は、エンジンが冷えた状態で行ってください。

1. 右側のフットボードマットを取り外します。



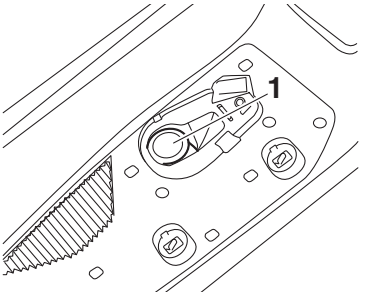
1. フットボードマット

2. リカバリータンクカバーを取り外します。



1. リカバリータンクカバー

3. リカバリータンクキャップを外し、冷却水をフルレベルまで補充します。



1. リカバリータンクキャップ

4. リカバリータンクキャップを取り付けます。
5. リカバリータンクカバー、フットボードマットを取り付けます。

JCA12121

注 意

- **フルレベル以上は入れないでください。**
- **冷却水の交換は、ヤマハ販売店で行ってください。**

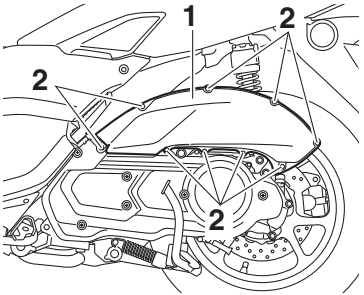
JAU67174

エアクリーナーエレメント、V ベルトフィルターエレメント

エアクリーナーエレメントは 20000 km 走行ごとに交換してください。V ベルトフィルターエレメントは10000 km走行ごとに点検、清掃してください。ただし、ほこりの多い場所や湿気の多い場所を走行する機会が多い場合は、上記よりも短い距離で交換または点検、清掃を行ってください。

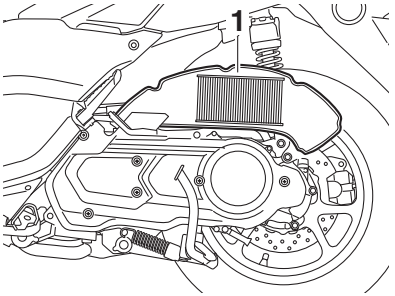
エアクリーナーエレメントの交換

1. メインスタンドを立てます。
2. スクリューを外し、エアクリーナーケースカバーを取り外します。



1. エアクリーナーケースカバー
2. スクリュー

3. エアクリーナーエレメントを取り外します。



1. エアクリーナーエレメント

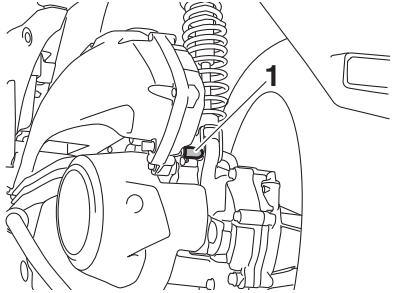
4. 新しいエアクリーナーエレメントをエアクリーナーケースに取り付けます。
5. エアクリーナーケースカバーを取り付け、スクリューを締め付けます。

JCA11951

注 意

- **エアクリーナーエレメントがエアクリーナーケースに正しく装着されていることを確認してください。**
- **エアクリーナーエレメントを取り付けないままエンジンを始動しないでください。エンジンの故障の原因となります。**

ブローバイガス還元装置のブリーザードレンホースの清掃

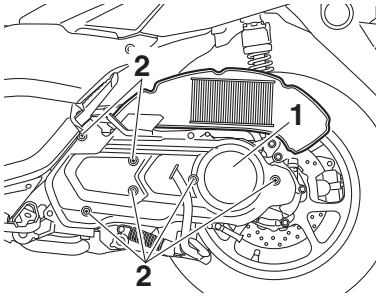


1. ブローバイガス還元装置のブリーザードレンホース

1. ブリーザードレンホースを点検し、汚れや水がたまっていないか確認します。
2. 汚れや水があった場合は、ブリーザードレンホースを取り外して清掃し、元に戻します。

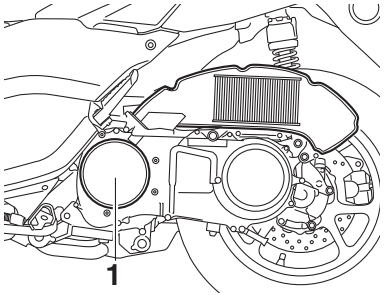
V ベルトフィルターエレメントの清掃

1. メインスタンドを立てます。
2. スクリューを外し、V ベルトフィルターケースカバーを取り外します。



1. V ベルトフィルターケースカバー
2. スクリュー

3. Vベルトフィルターエレメントを取り外します。



1. V ベルトフィルターエレメント

4. Vベルトフィルターエレメントをきれいな灯油で洗浄し、軽くしぼります。

JWA12251

⚠ 警 告

ガソリンや引火性の高い洗浄剤は引火のおそれがありますので、使用しないでください。

5. 布切れなどでVベルトフィルターエレメントを包み、乾かします。
6. Vベルトフィルターエレメントの損傷を点検します。損傷している場合は交換します。
7. ヤマルーブフィルターオイルをVベルトフィルターエレメントの表面全体に塗布してから、布切れなどで包み、しぼります。
8. V ベルトフィルターエレメントをV ベルトフィルターケースに取り付けます。

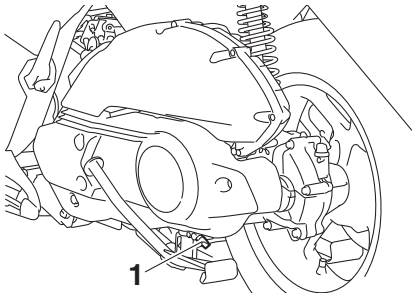
JCA13031

注 意

V ベルトフィルターエレメントは確実に装着してください。

9. Vベルトフィルターケースカバーを取り付け、スクリューを締め付けます。

V ベルトケースチェックホースの清掃



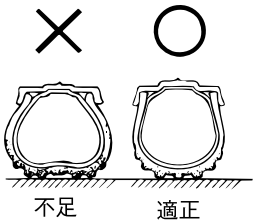
1. V ベルトケースチェックホース

1. V　ベルトケースチェックホースを点検し、汚れや水がたまっていないか確認します。
2. 汚れや水があった場合は、V ベルトケースチェックホースを取り外して清掃し、元に戻します。

JAU65360

タイヤ

空気圧



タイヤ接地部のたわみ状態により空気圧が不足していないかを点検します。たわみ状態が異常なときは、タイヤゲージで点検し、正規の空気圧にしてください。
空気圧はタイヤが冷えているときに測定してください。
この車はチューブレスタイヤを装着しています。

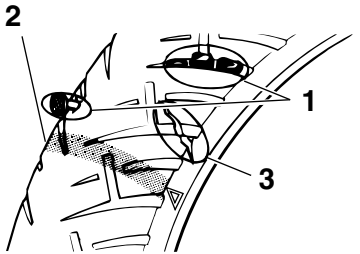
タイヤ空気圧（冷間時）：
1 名乗車：
前輪：
150 kPa (1.50 kgf/cm²)
後輪：
250 kPa (2.50 kgf/cm²)
2 名乗車：
前輪：
150 kPa (1.50 kgf/cm²)
後輪：
250 kPa (2.50 kgf/cm²)

要　点

- タイヤの空気圧は徐々に低下します。見た目には不足していることが判りにくいタイヤもあり、少なくとも 1 か月に一度はタイヤゲージを使用して空気圧の点検を行ってください。
- 空気圧の確認は、タイヤが冷えているときに行ってください。走行後はタイヤが暖まっており、空気圧が高くなります。

JAU28642

タイヤの亀裂、損傷の点検
タイヤの接地面や側面に著しい亀裂や損傷がないかを点検します。
この車はチューブレスタイヤを装着しています。タイヤの接地面や側面に釘、石、その他の異物が刺さったり、かみ込んだりしていないかを点検し、異常があったときはヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。



1. 異物（釘、石など）
2. ウェアインジケーター（摩耗限度表示）
3. 亀裂、損傷

要　点

道路の縁石などにタイヤ側面を接触させたり、大きなくぼみや突起物を乗り越したときは、必ず点検してください。

JAU28701

タイヤの異常な摩耗

タイヤの接地面が異常に摩耗していないかを点検します。

JAU28776

タイヤの溝の深さ

タイヤの溝の深さをウェアインジケーターで点検します。ウェアインジケーターがあらわれたら、タイヤを交換してください。

要　点

- ウェアインジケーターはタイヤの溝が 0.8 mm になるとあらわれます。
- 安定したコーナリングや操縦性などを確保して安全な走行を行うため、タイヤの溝には充分注意してください。一般的に二輪車のタイヤは溝の深さが前輪 1.6mm、後輪 2.0mm 以下になりましたら交換をおすすめします。

JWA11914

⚠警　告

- **タイヤを交換するときは、必ず指定タイヤを使用し、前後とも同じ銘柄のものを使用してください。指定タイヤ以外のタイヤや前後で異なった銘柄のタイヤを使用すると、操縦安定性に影響をおよぼすおそれがありますので使用しないでください。**
- **過度にすり減ったタイヤの使用や不適正な空気圧での運転は、転倒事故などを起こす原因となることがあります。取扱説明書に記載された空気圧を守り、過度にすり減ったタイヤは交換してください。**
- **タイヤに異常があると、操縦安定性に影響をおよぼしたりパンクの原因になります。異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。**

タイヤサイズ：
前輪：
110/70-13M/C 48P
後輪：
130/70-13M/C 63P

指定タイヤ：
前輪：
DUNLOP/SCOOT SMART L
後輪：
DUNLOP/SCOOT SMART L

JAU29162

ブレーキレバーの遊び、きき具合の点検

ブレーキレバーの遊びの点検

フロントブレーキ、リヤブレーキとも、ブレーキレバーの遊びはありません。ブレーキを手で作動させ、手ごたえがあるかどうかを確認します。

JWA11751

⚠警 告

ブレーキレバーの引き具合がやわらかく感じられるときは、エアが混入しているおそれがあります。ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

ブレーキのきき具合の点検

乾いた路面を走行し、フロントブレーキ、リヤブレーキを別々に作動させたときのきき具合を点検します。
ブレーキのきき具合が悪いときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JWA11761

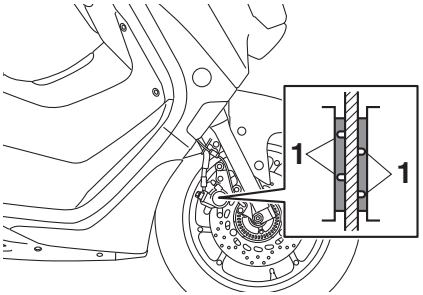
⚠警 告

走行して点検するときは、交通状況に注意し、低速で走行しながら行ってください。

JAU29601

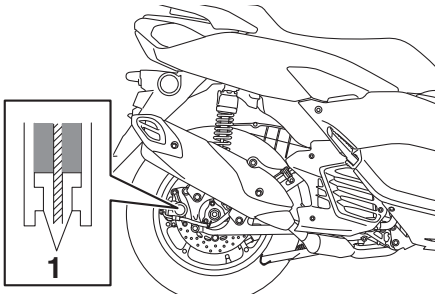
ブレーキパッドの点検

ブレーキパッドの摩耗の状態を点検します。摩耗したブレーキパッドは、ヤマハ販売店で交換してください。
＜フロントブレーキ＞



1. インジケーター溝

ブレーキパッドのインジケーター溝がなくなったら交換してください。
＜リヤブレーキ＞



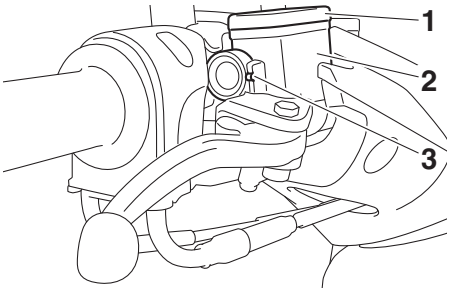
1. インジケーター

ブレーキパッドのインジケーターとブレーキディスクのすき間がなくなったら交換してください。

JAU44233

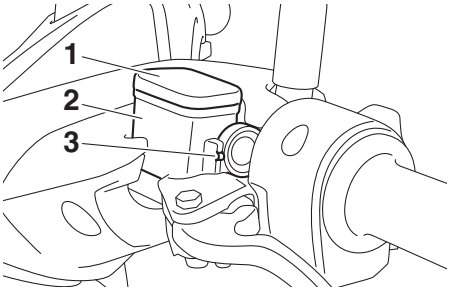
ブレーキ液量の点検

＜フロントブレーキ＞



1. ブレーキリザーバータンクキャップ
2. リザーバータンク
3. ロアレベル

＜リヤブレーキ＞



1. ブレーキリザーバータンクキャップ
2. リザーバータンク
3. ロアレベル

ブレーキリザーバータンクキャップ上面を水平にして、リザーバータンク内の液量がロアレベル以上にあるかを点検します。
液量がロアレベル以下のときは、販売店へブレーキ液の補給を依頼してください。

JWA12152

⚠ 警 告

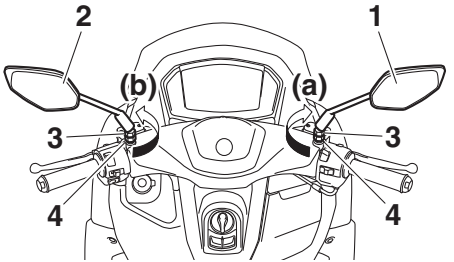
- **ブレーキ液の減りが著しいときは、ブレーキ系統の液漏れが考えられます。販売店で点検・整備を受けてください。**
- **ブレーキ液は安全のために2年ごとに交換してください。**

JAU43302

バックミラー

バックミラーの脱着のしかた

- 右バックミラー取り付けアダプターのボルト部は左ネジです。右バックミラーを取り外すときは、右バックミラー取り付けアダプターを時計回り（a）方向に回します。
- 左バックミラー取り付けアダプターのボルト部は右ネジです。左バックミラーを取り外すときは、左バックミラー取り付けアダプターを反時計回り（b）方向に回します。



1. 右バックミラー
2. 左バックミラー
3. バックミラー取り付けナット
4. バックミラー取り付けアダプター

- バックミラーの取り付けは、取り外しと逆の手順で行います。

要　点

- 右バックミラー取り付けナットは、右ネジです。
- 左バックミラー取り付けナットは、左ネジです。

JAU28621

車体各部の給油脂状態の点検

車体各部の給油脂状態が充分であるかを点検します。
異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU28762

バッテリー

バッテリーの点検

この車のバッテリーは密閉式です。
バッテリー液の補充、点検は不要です。
バッテリーに異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。
バッテリーターミナル部に汚れや腐食があるときは、バッテリーを取り外して清掃します。

JWA11811

⚠警　告

バッテリーは引火性ガス（水素ガス）を発生しますので、取り扱いを誤ると爆発し、ケガをすることがあります。次の点を必ず守ってください。

- **火気厳禁です。ショートやスパークさせたり、タバコなどの火気を近づけないでください。爆発のおそれがあります。**
- **補充電は風通しのよいところで行ってください。**
- **ガソリン、油、有機溶剤などを付着させないでください。電そう割れの原因となることがあります。**
- **落下などの強い衝撃を加えないでください。**
- **バッテリー液は希硫酸です。皮膚、目、衣服などに付着すると、重大な傷害を受けることがあります。**
- **子供の手の届くところに置かないでください。**

応急手当
- **万一、バッテリー液が皮膚、衣服などについたときはすぐに多量の水で洗い流してください。**
- **目に入ったときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。**

JCA12142

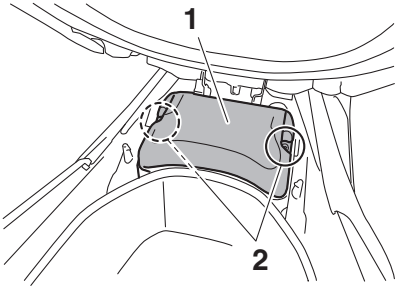
注 意

- **このバッテリーは密閉式の 12V です。**
- **このバッテリーは液入り充電済です。液量点検および補水は必要ありません。**
- **補充電には、密閉式バッテリー専用充電器を使用してください。くわしくはヤマハ販売店にご相談ください。**
- **長期間ご使用にならないときは、3 か月ごとに補充電してください。**
- **バッテリーを交換するときは、必ず同型式のバッテリーを使用してください。**

JAU29201

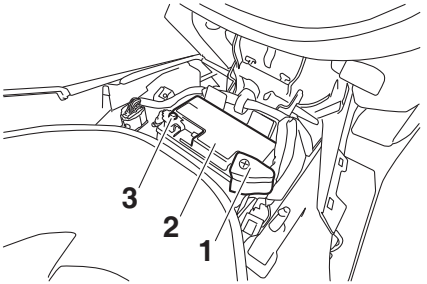
バッテリーの取り外し

1. メインスイッチを OFF にします。
2. シートを開けます。(6-14 ページ参照)
3. スクリューを外し、バッテリーカバーを取り外します。



1. バッテリーカバー
2. スクリュー

4. −（マイナス）側リード線を外し、次に＋（プラス）側リード線を外します。
5. バッテリーを取り外します。



1. ＋リード線
2. バッテリー
3. −リード線

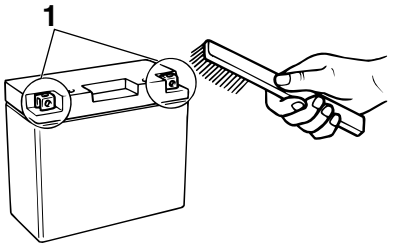
バッテリーの取り付け

取り付けは、取り外しと逆の手順で行います。

JAU29411

ターミナル部の清掃

バッテリーターミナル部に汚れや腐食があるときは、やわらかいブラシなどで清掃します。また、白い粉がついているときは、ぬるま湯を注いでよくふき取ります。

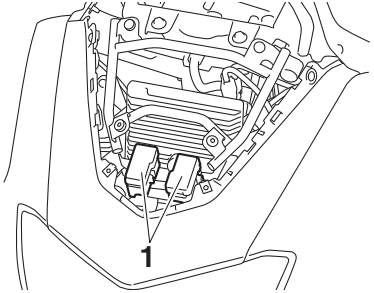


1. ターミナル

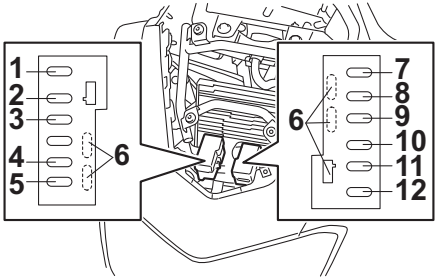
JAUN2581

ヒューズ交換

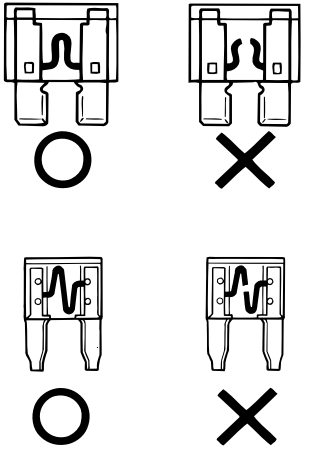
系統別ヒューズボックスは、カバー A を外したところにあります。(9-2 ページ参照)



1. ヒューズボックス



1. シグナルヒューズ
2. ターミナルヒューズ（パワーアウトレット）
3. スマートキーシステムヒューズ
4. ABS モーターヒューズ
5. ABS ソレノイドヒューズ
6. スペアヒューズ
7. フューエルインジェクションヒューズ
8. バックアップヒューズ
9. メインヒューズ
10. イグニッションヒューズ
11. ヘッドライトヒューズ
12. ABS コントロールユニットヒューズ



ヒューズが切れたときは、以下のように交換します。

1. メインスイッチをオフにします。
2. 切れたヒューズを外し、規定アンペア数の新しいヒューズを取り付けます。

規定ヒューズ：
メイン：
30.0 A
イグニッション：
7.5 A
スマートキーシステム：
2.0 A
シグナル：
7.5 A
ヘッドライト：
7.5 A
ターミナル：
5.0 A
ABS モーター：
30.0 A
ABS ソレノイド：
15.0 A
ABS コントロールユニット：
2.0 A
バックアップ：
7.5 A
フューエルインジェクション：
7.5 A

JCA12862

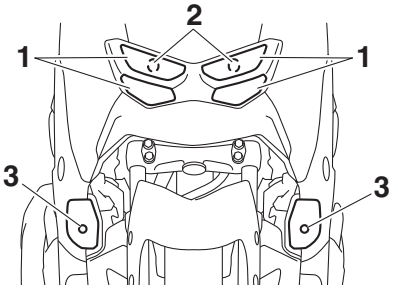
注 意

- **交換するヒューズは、指定されている容量のヒューズを使用してください。指定容量を超えるヒューズを使用すると、配線の過熱や焼損の原因になります。**
- **電装品類（ライト、計器など）を取り付けるときは、車種ごとに決められている「ヤマハ純正部品」を使用してください。それ以外のものを使用すると、ヒューズが切れたり、バッテリーあがりを起こすことがあります。**
- **洗車時ヒューズボックスのまわりに水を強く吹き付けないでください。漏電や短絡（ショート）の原因になります。**

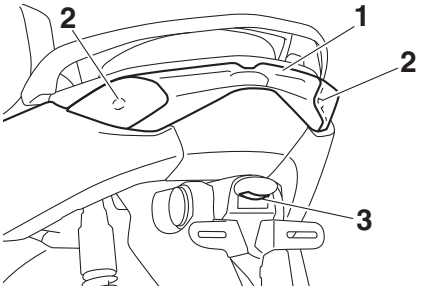
3. メインスイッチをオンにし、ヒューズ交換した装置が作動することを点検します。
4. ヒューズを交換してもすぐに切れるときは、ヤマハ販売店で電気系統の点検を受けてください。

JAU29447

灯火装置および方向指示灯の点検



1. ヘッドライト
2. マーカーランプ
3. 方向指示灯（前）



1. ブレーキ / テールランプ
2. 方向指示灯（後）
3. 番号灯

1. 車両の電源をオンにします。

2. テールランプ、ブレーキランプなどの灯火装置や方向指示灯の点灯・点滅具合が良好かを点検します。
3. エンジンを始動し、ヘッドライトの点灯状態が良好かを点検します。
4. レンズなどに汚れや損傷がないかを点検します。

点灯しないときはヒューズを点検（9-15 ページを参照）し、異常がないときはヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JCA12063

注 意

電球は、指定されているワット数・規格のもの（11-1 ページ「製品仕様」を参照）を使用してください。指定以外のものを使用すると、球切れ、作動不良などの原因となります。

JAU29571

運行において異常が認められた箇所の点検

運行中に異常を認めた箇所について、運行に支障がないかを点検します。

JAU92530

こんなときは

こんなときは、ヤマハ販売店にご相談される前に次のことを調べてください。

エンジンが始動しないときは？

次の項目を確認してください。

1. 車両の電源はオンになっていますか？
2. ガソリンはありますか？
   燃料計にてガソリン量を確認してください。
   燃料計の最後のセグメントが点滅しているときは、フューエルタンクのガソリン残量が少なくなっています。最寄りのガソリンスタンドで給油してください。
3. リヤブレーキレバーを握ってスタータースイッチを押しましたか？
4. スロットルグリップを回さずにスタータースイッチを押しましたか？
5. サイドスタンドを使用していませんか？

以上のことを確認してから、8-1 ページの方法でエンジンをかけなおしてください。

スターターモーターが回らないときは？

スタータースイッチを押してもスターターモーターが回らないときは、次の項目を確認してください。

1. 車両の電源はオンになっていますか？
2. リヤブレーキレバーを握ってスタータースイッチを押しましたか？
3. サイドスタンドを使用していませんか？

以上のことを確認してもスターターモーターが回らないときは、・・・・
- ヒューズ切れが考えられます。9-15 ページを参照してヒューズを点検してください。
- ヒューズに異常がないときは、早めにヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

ランプ類が点灯しないときは？
次の順序で確認してください。
1. 車両の電源がオンになっていますか？
2. 各スイッチを作動させていますか？
3. エンジンは始動できますか？

以上のことを確認してもランプ類が点灯しないときは、・・・・
- ヒューズ切れが考えられます。9-15 ページを参照してヒューズを点検してください。
- ヒューズに異常がないときは、ランプ自体の球切れが考えられます。「製品仕様」のページの規格に合わせて、同じものと交換してください。

JCA12063

注 意

電球は、指定されているワット数・規格のもの（11-1 ページ「製品仕様」を参照）を使用してください。指定以外のものを使用すると、球切れ、作動不良などの原因となります。

走行中にエンジンが止まったときは？
ガソリンはありますか？
燃料計でガソリン量を確認してください。燃料計の最後のセグメントが点滅しているときは、フューエルタンクのガソリン残量が少なくなっています。最寄りのガソリンスタンドで給油してください。
上記のことを確認してから、8-1 ページの方法でエンジンをかけなおしてください。

走行中、V ベルト交換表示 “V-BELT” が点滅したときは？
早めに、ヤマハ販売店で V ベルトを交換してください。
交換後、リセット操作をすると V ベルト交換表示は消灯します。

JCA12531

注 意

V ベルトを交換しないまま走行すると、走行不能となるなど、故障の原因となります。

走行中、エンジンオイル交換表示 “OIL” が点滅したときは？
早めに、ヤマハ販売店でエンジンオイルを交換してください。（推奨エンジンオイルについては、10-3 ページ参照）
交換後、リセット操作をするとエンジンオイル交換表示は消灯します。

JCA12311

注 意

オイル交換をしないまま走行すると、エンジンが故障する原因となります。

走行中、ABS 警告灯 “(ABS)” が点灯または点滅したときは？
ブレーキシステムは通常のブレーキの状態になっています。急ブレーキなどでホイールがロックしないよう、慎重にブレーキをかけて、直ちにヤマハ販売店でブレーキシステムの点検を受けてください。

スマートキーシステムが作動しないときは？
スマートキーシステムが作動しないときは、次の項目を確認してください。
- スマートキーがロックの状態になっていませんか？ 3-4 ページを参照して、スマートキーをアンロック状態に切り替えてください。
- スマートキーの電池が消耗していませんか？車両の電源をオンする時にスマートキーシステム表示灯が約 20 秒点滅したときは、電池を交換してください。（3-5 ページ参照）
- 強い電波やノイズのある場所などで使用していませんか？スマートキーシステムは微弱な電波を使用しています。スマートキーシステムの作動を妨げる具体的な例については 3-1 ページを参照してください。
- スマートキーに電池が入っていない、または電池が正しく取り付けられていない状態ではないですか？電池の取り付け状態を確認してください。（3-5 ページ参照）

- 車に登録されている、専用のスマートキーを使用していますか？車に登録された専用のスマートキーを使用しないと、スマートキーシステムは作動しません。登録されている、専用のスマートキーを使用してください。
- 壊れたスマートキーを使用していませんか？ 3-2 ページを参照してください。壊れたスマートキーを使用した場合、スマートキーシステムは作動しません。
- バッテリーがあがっていませんか？バッテリーの電圧が低下しているか、バッテリーがあがっていると通信不良の原因になります。バッテリーを充電するか、交換してください。スマートキーシステムが作動しないときのバッテリー交換方法については、9-13 ページを参照してください。

以上のことを確認してもスマートキーシステムが作動しない場合は、ヤマハ販売店にご相談ください。
スマートキーを使わずにエンジンを始動する方法については、9-20 ページのエマージェンシーモードを参照してください。
メカニカルキーを使用してシートのロックを解除する方法については、6-14 ページを参照してください。

エンジンが停止し、「ピッピッピッ ...」とアラームが鳴ったときは？

故障ではありません。
エンジン始動後、サイドスタンドを出すとエンジンは停止し、上記のアラームが約 1 分間鳴ります。

JCA22550

注 意

サイドスタンドを出してエンジンを停止させたときは、必ず車の電源を OFF にしてください。ON のままですと、バッテリーあがりの原因となります。

要 点

上記のアラームを鳴らないようにすることができます。詳しくは、ヤマハ販売店にご相談ください。

アイドリングストップ表示灯が点灯しないときは？

1. メインスイッチがオンになっていますか？
2. アイドリングストップスイッチを “Ⓐ” にしていますか？
3. エンジン始動後、充分に暖機運転をしましたか？
4. エンジン暖機後、一定時間アイドリング運転をしましたか？
5. 10 km/h以上の速度で走行しましたか？

上記を満たしても、バッテリー保護のためアイドリングストップ機能がオンにならないことがあります。その場合は、しばらく走行してください。また、エンジン警告灯が点灯するとアイドリングストップ表示灯は点灯しません。

以上のことを確認してもアイドリングストップ表示灯が点灯しないときは、早めにヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

アイドリングストップ表示灯は点灯しているが、エンジンが自動的に停止しないときは？

1. 確実に停車していますか？
   一定時間停車していないとエンジンが自動的に停止しないことがあります。確実に停車をしてみてください。
2. スロットルグリップを回していませんか？
   スロットルグリップが完全に戻っていないと、エンジンは自動的に停止しません。スロットルグリップを完全に戻してください。

以上のことを確認してもエンジンが自動的に停止しないときは、早めにヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

アイドリングストップ後、スロットルを開けてもエンジンが再始動しないときは？

1. アイドリングストップスイッチが “Ⓐoff” になっていませんか？
   アイドリングストップがオンになっているときにアイドリングストップスイッチを “Ⓐoff” にすると、アイドリングストップがキャンセルされます。
2. サイドスタンドを操作していませんか？

サイドスタンドを下ろすと、アイドリングストップがキャンセルされます。

3. 長時間アイドリングストップしていませんか？
   長時間アイドリングストップしているとバッテリーが消耗します。

以上のことを確認してもエンジンが再始動しないときは、早めにヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU76561

スマートキーシステムのエマージェンシーモード

スマートキーを紛失したとき、またはスマートキーの電池切れや故障などでスマートキーが使用できないときに、このモードの操作を行うことで、スマートキーがなくても車両の電源を ON にし、エンジンを始動することができます。

要　点

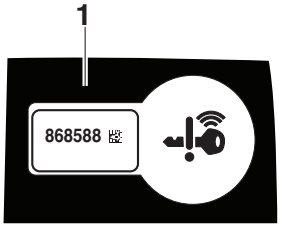
各操作を行うとき、それぞれの操作で決められた時間内に操作を終了しないと、エマージェンシーモードの操作を中止します。

1. 車を安全な場所に停車させ、メインスイッチを OFF にします。
2. スマートキーシステム表示灯が1回点滅するまでメインスイッチノブを5秒押します。この操作を 3 回行うと、スマートキーシステム表示灯が 3 秒間点灯し、エマージェンシーモードに移行したことを知らせます。



1. スマートキーシステム表示灯 “ ”

3. スマートキーシステム表示灯が消灯後、ID 番号カードを参照して ID を入力します。



1. ID 番号カード

4. ID の入力数値は、スマートキーシステム表示灯の点滅回数を数えて行います。
   操作例（ID:123456 を入力するとき）
   メインスイッチノブを押し続けます。
   ↓

スマートキーシステム表示灯が点滅を開始します。
↓



× 1

1回点滅したところでメインスイッチノブをはなします。
↓
1 番目（ID の左端）の数値「1」が確定します。
↓
再びメインスイッチノブを押し続けます。
↓



× 2

2回点滅したところでメインスイッチノブをはなします。
↓
2 番目（ID の左から 2 つ目）の数値「2」が確定します。
↓
以下、6 番目（ID の右端）の数値を確定するまで繰り返します。正しい 6 桁の ID を入力すると、スマートキーシステム表示灯が 10 秒間点灯します。

要　点

下記のいずれかに該当した場合は操作が無効となり、エマージェンシーモードを終了します。このとき、スマートキーシステム表示灯は 3 秒間速く点滅します。この場合は、ステップ「2」からやり直してください。

- ID の入力作業中に 10 秒以上、メインスイッチノブの操作が無いとき
- スマートキーシステム表示灯を 9 回以上点滅させたとき
- ID が正しく入力されなかったとき

5. スマートキーシステム表示灯が点灯している間にメインスイッチノブをもう一度押すと、エマージェンシーモードが完了します。スマートキーシステム表示灯が一瞬消灯したあと、再度約 4 秒点灯します。
6. スマートキーシステム表示灯が点灯している間にメインスイッチを ON にすると、通常どおり車両を操作できます。

お車の手入れ

JAU35124

いつまでも車を長持ちさせるために、お手入れをしてください。
すみずみまで掃除すれば、普段気付かない異常箇所や摩耗が発見でき、故障の予防にもなります。

マット塗装（ツヤ消し塗装）のお手入れ

お車によってはマット塗装が施されています。マット塗装部分のお手入れをするときは、以下の点に注意してください。

JCA13084

注 意

- **洗車などでブラシは使用しないでください。塗装を傷つけることがあります。**
- **ワックスがけはしないでください。外観が変化することがあります。**
- **コンパウンドは使用しないでください。マット塗装の表面が研磨されて、光沢がでることがあります。**

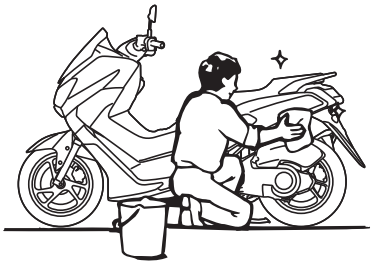
JAU27976

洗車

雨天走行後など、車が汚れたときは早めに洗車してください。車をサビやキズから守ります。

- 中性洗剤を使用して洗車した後、充分に水洗いします。洗車後は柔らかい布で水分をよくふきとります。
- 洗車後、必要に応じて各部にグリースなどを注油してください。
- 車の塗装面保護のため、ワックスがけをしてください。（マット塗装部分を除く）

ワックス：
ユニコンカークリーム



JWA11931

⚠警 告

- **洗車はエンジンが冷えているときにしてください。**
- **洗車後、ブレーキのききが悪くなることがあります。ききが悪いときは、前後の車に充分注意しながら低速で走行し、ききが回復するまで数回ブレーキを軽く作動させて、ブレーキの湿りをかわかしてください。**
- **ブレーキディスクやパッドにワックスやグリースなどの油脂類をつけないでください。ブレーキがきかなくなり、事故の原因になることがあります。**

JCA12214

注 意

- **エアクリーナーや電装品などに水が入らないように注意してください。故障の原因になります。**
- **マフラー内部に水がたまると、始動不良やサビの原因になることがあります。洗車時はビニール袋をかけるなどして、内部に水が入らないようにしてください。**
- **ヘッドライト、メーターパネル、カバーなどのプラスチック部品にガソリンやブレーキ液、アルカリ性および強酸性のクリーナー、その他の溶剤などがかかると、ヒビ割れなどの原因になりますので注意してください。また、コンパウンドの入ったワックスは、表面を傷つけますので使用しないでください。**
- **ウインドシールド、ヘッドライトレンズ、メーターレンズ、カウル、パネルなどのプラスチック部品やマフラーは、清掃のしかたを誤ると外観を損ねたり損傷したりします。まず、柔らかくて清潔な布やスポン**

ジを使用し、水洗いしてください。もし、汚れが充分に落ちないときは、少量の中性洗剤を水で薄めて清掃してください。中性洗剤を使用して清掃した後は、大量の水で洗剤を完全に洗い落としてください。洗剤の成分が残っていると、プラスチック部品が損傷するおそれがあります。

- **高圧洗車機やスチーム洗浄機は使用しないでください。水が侵入し、故障の原因となることがあります。**

要　点

洗車後、雨天走行後、または湿度が高い天候のときなど、ヘッドライトのレンズが曇ることがあります。このような曇りは、ヘッドライトを短時間点灯することで自然に取れます。

JAU27991

キャストホイールの取り扱い

日常のお手入れ

清掃は中性洗剤を使用し、スポンジで水洗いします。
(工業用洗剤、みがき粉、クレンザー、金属タワシなどは、傷がつくので使用しないでください。)
洗車後は、乾いた布などで水分をよくふきとってください。
長期間お手入れをしませんと、表面だけでなく内部まで腐食します。手遅れにならないように、お手入れをしてください。

JWA11951

⚠警 告

変形したり、損傷したキャストホイールは、修正して使用しないでください。変形したり、損傷したときは、ヤマハ販売店にご相談ください。

JCA12221

注 意

- **縁石などに乗り上げるときは、キャストホイールのリムが傷つきやすいので注意してください。**
- **アルミは塩分に弱く腐食しやすいので、海岸付近や凍結防止剤をまいた道路などを走った後は、すぐに水洗いをしてください。**

JAU28051

ウインドシールドの取り扱い

使用上の注意

- 走行前、各部が確実に取り付けてあるか、取り付けにガタがないかなどを点検してください。
- ウインドシールドの清掃は、キズをつけないように中性洗剤を使い、柔らかい布かスポンジで水洗いします。洗車後は、柔らかい布などで水分をよくふきとってください。

JWA11981

⚠警 告

ウインドシールドとメーターフードの間に物を置くと、視界を妨げたり、運転操作に影響を与えることがあります。物を置かないでください。

JCA12231

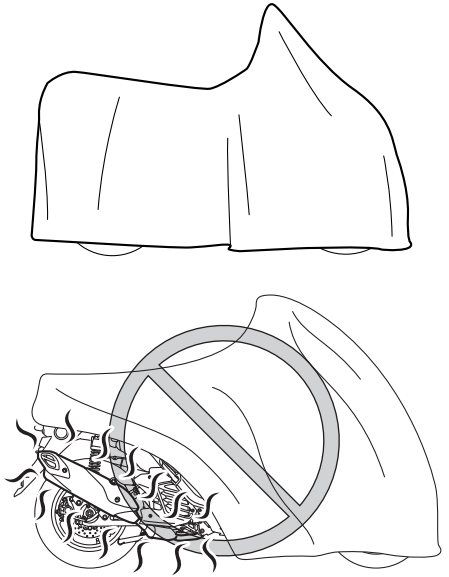
注 意

- **ウインドシールドにガソリンやブレーキ液、アルカリ性および強酸性のクリーナー、その他の溶剤などがかかると、ヒビ割れなどの原因になりますので注意してください。**
- **ヒビ割れのあるウインドシールドは使用しないでください。**

JAU35912

保管のしかた

車はできるだけ敷地内に保管し、屋外に駐車するときはボディーカバーをかけてください。
なお、ボディーカバーはエンジンやマフラーが冷えてからかけてください。



JCA13111

注 意

長期間お乗りにならないときは、以下のことを守ってください。

- **保管する前にワックスがけをしてください。（マット塗装部分を除く）サビを防ぐ効果があります。**
- **バッテリーを取り外し、充電器で満充電にした後、湿気のない涼しい場所に保管してください。また、バッテリーの劣化を抑えるため、3 か月ごとに補充電を行ってください。**
- **長期保管後の走行前には、バッテリーの充電、および各部の点検をしてください。**

※ 補充電については、ヤマハ販売店にご相談ください。

JAU28087

アフターケア用品について

ヤマハ車には、ヤマハ純正用品をご使用ください。大切なお車の寿命は、使用するオイルの品質により大きく左右されます。また、お車の手入れにも、ヤマハ純正用品をご使用いただくことをおすすめします。

JAU88210

ヤマハ純正オイル

ヤマルーブブルーバージョン for スクーター

スクーター用低フリクションオイル
高回転かつ高温で運転される二輪車エンジン特有の要求性能に合わせて開発された部分合成ベースオイルに、摩擦低減剤を多く配合した 4 サイクルスクーター向けエンジンオイルです。
摩擦低減剤の作用により、アイドリング安定性・省燃費・出力向上などの効果が期待できます。

ヤマルーブ RS4GP

ヤマルーブシリーズ最高峰エンジンオイル。
高負荷、高回転での過酷な条件に耐える油膜保持性、せん断安定性に優れ、長時間安定して高い潤滑性能を発揮します。
低摩擦特性・高い油膜保持性により、優れたスロットルレスポンスとシフトフィーリングを長時間安定して発揮します。

ヤマルーブプレミアムシンセティック
中・大型車両に最適な高品質二輪車用オイル。
大排気量モデルでの夏場の渋滞運転などエンジンには過酷な状況に強いオイル。
高温高負荷状況下で蒸発が少なく、高い酸化安定性能と油膜保持性能を発揮します。

ヤマルーブスポーツ
走行シーンを選ばないミドルグレードオイル。
価格と性能のバランスに優れ、排気量や車種を問わないオイル。
ストリートからロングツーリングまであらゆる走行シーンで安定した性能を発揮します。

ヤマルーブスタンダードプラス
経済的にも優れた、コストパフォーマンスオイル。
工場出荷時にも充填されるベーシックオイル（一部車種を除く）。
コストパフォーマンスに優れ、スポーツ走行からタフな業務使用まで幅広い用途に対応。

エンジンオイル以外のオイルや、その他の油脂液類については、次の URL を入力してホームページを参照するか、
「ヤマハ　バイク　オイル」というキーワードで検索してください。

https://www.ysgear.co.jp/mc/

ヤマハ　バイク　オイル　検索

製品仕様

寸法 :
全長 :
1935 mm
全幅 :
740 mm
全高 :
1160 mm
シート高 :
765 mm
軸間距離 :
1340 mm
最低地上高 :
135 mm

重量 :
車両重量 :
131 kg
乗車定員 :
2 名

性能 :
最小回転半径 :
2.0 m

エンジン :
行程 :
4 ストローク
冷却方式 :
水冷
動弁機構 :
SOHC
気筒数 :
単気筒
総排気量 :
155 cm³

フロントブレーキ :
ブレーキ形式 :
油圧式シングルディスクブレーキ
指定ブレーキフルード :
BF-4 (DOT-4)

リヤブレーキ :
ブレーキ形式 :
油圧式シングルディスクブレーキ
指定ブレーキフルード :
BF-4 (DOT-4)

フロントタイヤ :
種類 :
チューブレス
サイズ :
110/70-13M/C 48P
メーカー / 銘柄 :
DUNLOP/SCOOT SMART L

リヤタイヤ :
種類 :
チューブレス
サイズ :
130/70-13M/C 63P
メーカー / 銘柄 :
DUNLOP/SCOOT SMART L

エレクトリカル :
電圧 :
12V

バルブワット数 :
ヘッドライト :
LED
ブレーキ / テールランプ :
LED
方向指示灯（前）:
10.0 W
方向指示灯（後）:
10.0 W
番号灯 :
5.0 W
マーカーランプ :
LED

エンジンオイル :
推奨オイル :
ヤマルーブ Blue ver. For Scooter、プレミアムシンセティック、スポーツ、スタンダードプラス

エンジンオイル量 :
オイル交換時 :
0.90 L

ファイナルギヤオイル :
推奨オイル :
ヤマルーブギヤオイル
オイル量 :
0.10 L

冷却水容量 :
リザーブタンク（FULL レベルまで）:
0.13 L
ラジエターと全ての経路 :
0.46 L

バッテリー :
バッテリー型式 :
YTZ7V
バッテリー容量 :
12 V, 6.0 Ah (10 HR)

スパークプラグ :

メーカー / 型式 :
NGK/CPR8EA-9
プラグギャップ :
0.8–0.9 mm

JAU36644

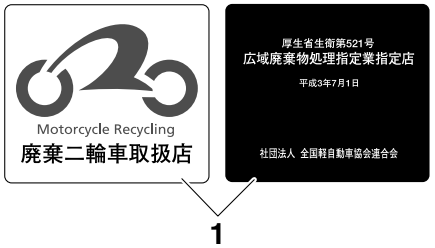
二輪車を廃棄する場合は？

廃棄を希望する場合は？

廃棄を希望される二輪車がある場合は、お近くの「廃棄二輪車取扱店」にご相談ください。

廃棄二輪車取扱店とは？

一般社団法人　全国軽自動車協会連合会の登録販売店で、広域廃棄物処理指定業指定店として登録されているお店が「廃棄二輪車取扱店」です。廃棄二輪車を適正処理するための窓口として、店頭に「廃棄二輪車取扱店の証」が表示されています。



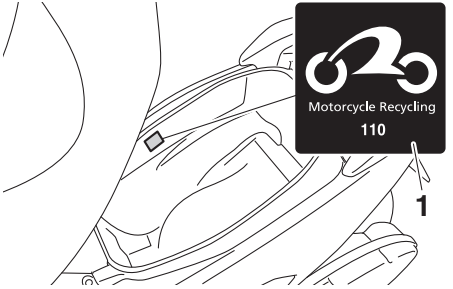
1. 廃棄二輪車取扱店の証

リサイクル費用とは？

廃棄二輪車を適正に処理し、再資源化する費用です。二輪車リサイクルマークが車体に貼付されている二輪車は、リサイクル費用をメーカー希望小売価格に含んでいますので、リサイクル料金はいただきません。
ただし、リサイクル費用には運搬および収集料金は含まれていませんので、廃棄二輪車取扱店または指定引取場所までの運搬・収集料金は、お客様の負担になります。運搬・収集料金につきましては、廃棄二輪車取扱店にご相談ください。

二輪車リサイクルマークの取り扱い

この車には、下図の位置に二輪車リサイクルマークが貼付されています。
廃棄時に二輪車リサイクルマークの有無を確認しますので、絶対に剥がさないでください。二輪車リサイクルマークは、剥がれや破損による再発行、部品販売の取り扱いはございません。
剥がれや破損でリサイクルマーク付き対象車かどうかが不明の場合は、下記へお問い合わせください。



1. 二輪車リサイクルマーク

廃棄二輪車に関するお問い合わせについて

廃棄二輪車に関するお問い合わせは、最寄りの「廃棄二輪車取扱店」、または下記のホームページへお願いします。
ヤマハ発動機（株）　二輪車リサイクルシステム
https://www.yamaha-motor.co.jp/mc/recycle/
公益財団法人　自動車リサイクル促進センターホームページ
https://www.jarc.or.jp/motorcycle/

JAU28393

サービスマニュアル（別売）の紹介

サービスマニュアルには、点検・調整や分解・組立の方法を写真やイラストを用いて説明してあります。車の概要や構造を理解するためにご利用ください。
サービスマニュアルのご注文は、ヤマハ販売店で受けております。部品番号をお知らせください。

サービスマニュアル　部品番号：

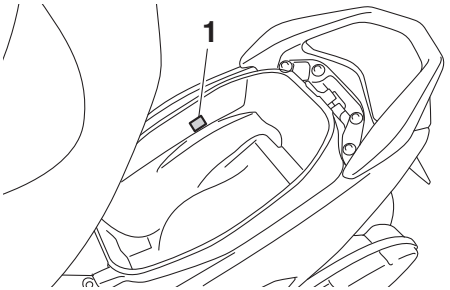
QQS-CLT-000-BBD

JAU50493

車両情報

モデルラベル

パーツオーダー、アフターサービスなどに使用します。
モデルラベルは、あなたの車を正確に特定するための情報をコード化したものです。ご相談の際には、車名およびモデルラベルの内容を正確にご連絡ください。
モデルラベルは、トランク内に貼り付けてあります。



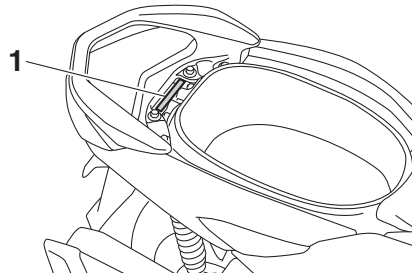
1. モデルラベル

あなたの車の情報を記入し、控えにしてください。

車名は
NMAX155
モデルラベル
製品仕様を示しています。
〇
カラーリングを示しています。
●

JAU50501

車台番号



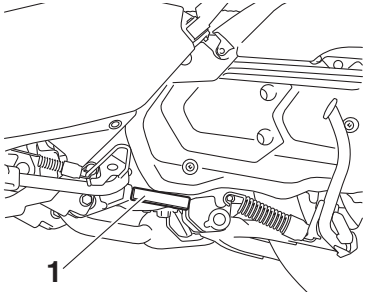
1. 車台番号

ナンバー登録、自動車保険の加入などに使用します。
詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

ユーザー情報

JAU50511

原動機番号

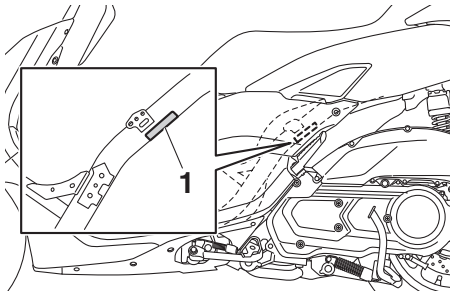


1. 原動機番号

ナンバー登録、自動車保険の加入などに使用します。
詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

JAU50522

型式認定番号

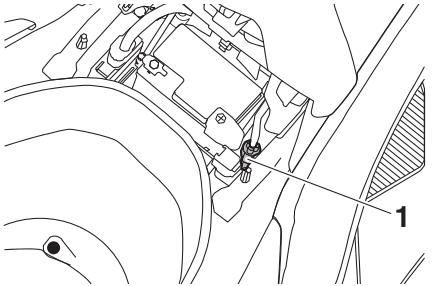


1. 型式認定番号

ナンバー登録、自動車保険の加入などに使用します。
詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

JAU73861

故障診断コネクター



1. 故障診断コネクター

この車には故障診断コネクターが搭載されています。

JAU74841

車両情報の記録に関して

この車両に搭載されているコンピューターは、故障診断や調査、開発を目的として、車両情報を記録しています。
記録された情報は、車両の点検や修理の際にヤマハ車専用の故障診断ツールを接続した場合に限り、ヤマハに送信されます。

モデルによって異なりますが、記録される主な情報は次のとおりになります。

- 車両の状態やエンジンの使用状況
- 排気ガスに関する情報

記録された情報は、次の場合を除き第三者へ開示されることはありません。

- お客様の同意をいただいた場合
- 法的に求められた場合
- ヤマハが裁判で使用する場合
- 車両や個人を特定することなく、ヤマハが統計調査などに使用する場合

あ
アイドリングストップ表示灯 6-2
アイドリングストップ機能 4-1
アイドリングストップ機能使用時の注意 4-3
アイドリングストップスイッチ 6-9
アイドリングストップの起動 4-1
アイドリングストップの操作手順と作動 4-1
あなた自身と同乗者のために 1-1
アフターケア用品について 10-3
アプリ通知表示灯 6-2

い
イグニッションサーキットカットオフシステム 6-19

う
ウインドシールドの取り扱い 10-2
運行において異常が認められた箇所の点検 9-17

え
ABS 6-10
ABS 警告灯 6-1
エアクリーナーエレメント、V ベルトフィルターエレメント 9-7
エンジンオイル 9-3
エンジンオイルトリップメーター 6-6
エンジン始動 8-1
エンジンのかかり具合、異音の点検 9-4

お
オドメーター 6-5

か
加速と減速 8-2
型式認定番号 12-3
カバーの取り外し、取り付け 9-2
環境・住民の方との調和のために 1-6

き
キャストホイールの取り扱い 10-2

け
警告灯と表示灯 6-1
原動機番号 12-3

こ
故障診断コネクター 12-3
小物入れとトランク 6-15
こんなときは 9-17

さ
サービスツール 9-2
サービスマニュアル（別売）の紹介 12-2
サイドスタンド 6-18

し
CCU（コミュニケーションコントロールユニット） 5-1
シート 6-14
車体各部の給油脂状態の点検 9-13
車台番号 12-2
車両情報 12-2
車両情報の記録に関して 12-3
車両の特徴 5-1
瞬間燃費表示 6-7
書類入れ 6-15

す
水温計 6-4
スタータースイッチ 6-9
スタンディングハンドル 6-17
スピードメーター 6-3
スマートキーおよびメカニカルキーの取り扱い 3-2
スマートキーシステム 3-1
スマートキーシステムのエマージェンシーモード 9-20
スマートキーシステムの概要 3-1
スマートキーシステムの作動範囲 3-9
スマートキーシステム表示灯 6-1
スマートキー操作のしかた 3-4
スマートキーの電池 3-5
スマートフォンのバッテリー残量計 6-3

せ
洗車 10-1

た
タイヤ 9-9

ち
着信表示灯 6-2
駐車 8-3

て
DC コネクター 6-18
低速、加速の状態の点検 9-5
点検整備の実施 9-1

と
灯火装置および方向指示灯の点検 9-16
盗難警報器（別売アクセサリー） 6-8
時計 6-4
トラクションコントロールシステム 6-11

索引

トラクションコントロール
システム表示灯 6-1
トリップメーター 6-5

な

ならし運転 8-1

に

日常点検箇所／点検内容 7-1
日常点検の実施 7-1
二輪車を廃棄する場合は？ 12-1

ね

燃料 6-14
燃料計 6-3

は

ハザードスイッチ 6-9
バックミラー 9-12
発進 8-2
バッテリー 9-13
バッテリー電圧表示 6-7
パワーアウトレット 6-17
ハンドルスイッチ 6-8

ひ

ヒューズ交換 9-15
表示単位切り替え 6-3

ふ

ファイナルギヤオイルの交換時期 9-4
VVA 表示 6-4
V ベルトトリップメーター 6-6
フューエルタンクキャップ 6-13
フューエルトリップメーター 6-6
ブレーキ 8-3
ブレーキ液量の点検 9-12
ブレーキパッドの点検 9-11
ブレーキレバーの遊び、
きき具合の点検 9-11
フロントブレーキレバー 6-10

へ

平均燃費表示 6-7
ヘッドライト上下切り替え
スイッチ 6-9
ヘルメットホルダー 6-15

ほ

ホーンスイッチ 6-9
方向指示器スイッチ 6-9
保管のしかた 10-3
歩行者と他の車のために 1-5

ま

マルチファンクション
ディスプレイ 6-5
マルチファンクションメーター 6-2

め

メインスイッチ 3-6

も

モデルラベル 12-2

や

“Yamaha Motorcycle Connect”
アイコン 6-3

り

リヤクッションの調整 6-16
リヤブレーキレバー 6-10

れ

冷却水 9-5

Yamaha Motorcycle Connect

あなたの街のあなたのお店

最寄りのお客様相談窓口については、メンテナンスノートの巻末をご覧ください。

QQS-CLT-100-BBD

PRINTED IN INDONESIA
2023.10